

# 資料編

# アンケート調査の概要

## 1 目的

本調査では、区民の皆さんが環境について日ごろ感じていることや、日常生活の中での環境保全行動の取組状況、区の環境施策に対するご意見などをうかがい、これまでの環境施策の効果をはかり、今後の取組に役立てていくことを目的としています。

また、毎年アンケート調査を実施することで、区民の皆さんの意識変化を捉え、「目黒区環境基本計画」の改定や事業展開などの基礎・参考資料としていきます。

## 2 調査項目

- (1) 現在お住まいの身近な環境について（問1～問6）
- (2) 環境にやさしい行動の取組み状況について（問7～問10）
- (3) 目黒区で行っている環境保全活動について（問11～問17）

## 3 対象者

区内に居住する日本国籍を有する満18歳以上の区民2,000人を住民基本台帳から無作為抽出。

## 4 調査方法

無記名回答式、郵送調査法（アンケート調査票を郵送にて配付及び回収）

## 5 調査期間

2017（平成29）年6月1日（木）～2017（平成29）年6月20日（火）

## 6 回収結果

発送数	不着数 <sup>1)</sup>	回収数	有効回答数 <sup>2)</sup>	有効回答率 <sup>3)</sup>
2,000	30	621	610	31.0%

1) 宛先不明により返送された調査票を示します。

2) 回収調査票のうち、自由記述を除き、属性に関する設問に1問以上回答し、かつ自由記述及び属性を除いた設問に対して、1問以上回答している場合を有効回答としました。

3) 有効回答数 ÷ (発送数 - 不着数) × 100

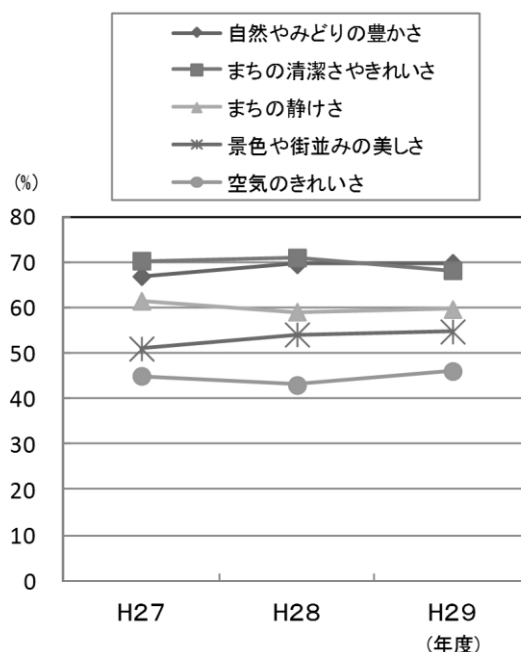
## 7 その他

- (1) 「n」は有効回答数を表し、グラフは「n」をもととした百分率（%）で示します。
- (2) 百分率（%）の表示は、小数第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問では【複数回答】と表記しており、比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) 図表中の選択肢の表記について、語句などを一部簡略化している場合があります。

## アンケート調査のまとめ

### ◆ 住まい周辺の身近な環境について

- 「身近な環境を総合的に見てどのように感じているのか(問1)」という質問に対し、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合が66.7%でした。区民のおおよそ3人に2人が、身近な環境を「良い」と感じていることが推測できます。
- 身近な環境に関する5項目(「自然やみどりの豊かさ」、「まちの清潔さやきれいさ」、「まちの静けさ(騒音や振動)」、「景色や街並みの美しさ」、「空気のきれいさ」)について、「良い」・「やや良い」を合計した割合を比較すると、「まちの清潔さやきれいさ」以外の項目が、平成28年度より増加しています。「自然やみどりの豊かさ」、「景色や街並みの美しさ」、「空気のきれいさ」は、平成27年度からの3年間で一番高い値になっています。



### ◆ 環境にやさしい行動の取組状況について

- 環境にやさしい行動の取組状況について聞いたところ、「資源回収」、「ごみの分別」、「ものを大切に使う」、「こまめな消灯」、「公共交通機関の利用」、「再生品や詰め替え商品の購入」などは「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が90%以上であり、取組として定着していることがうかがえます。
- 平成28年度と比較すると、「冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は20℃にする」「『家庭でできる環境にやさしい行動』について話し合う」「地域の環境活動に参加する」は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が4~8%減少していますが、「庭やベランダ等に植木や鉢植えを設ける」「洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする」は、約3%増加しています。それ以外の項目における取組状況は、ほぼ横ばいとなっています。
- 昨年1年間のエネルギー使用状況を聞いたところ、電気・ガス・水道・ガソリン(車)のすべての項目で「減っている」が「増えている」の割合を超えていることがわかりました。「変わらない」という割合も増えているため節約の行動が定着したことがうかがえる反面、やるべきことはやったという限界に達しつつある側面もうかがえます。

### ◆ 区で行っている環境保全活動について

- 「環境保全の取組に参加したことがあるか(問11ア)」という質問では、参加したことがある人の割合が6.6%と低い数値でした。
- 環境保全の取組に参加したことがない人に参加できない理由を聞いたところ、「参加する時間がない」が最も多く、次いで「1人では参加しにくいから」という結果でした。また「その他」として、「知らなかった、情報不足」などの回答もありました。
- 区の施策に関する満足度について聞いたところ、すべての項目において、「満足」「やや満足」の合計が「不満」「やや不満」の合計を上回っていました。

# アンケート調査の結果

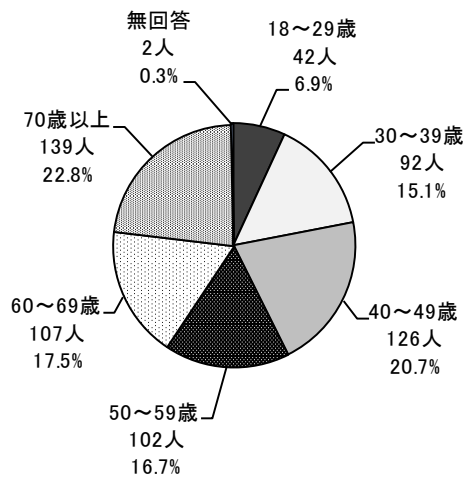
## ■ アンケート回答者の属性 (n=610)

### < 性別 >

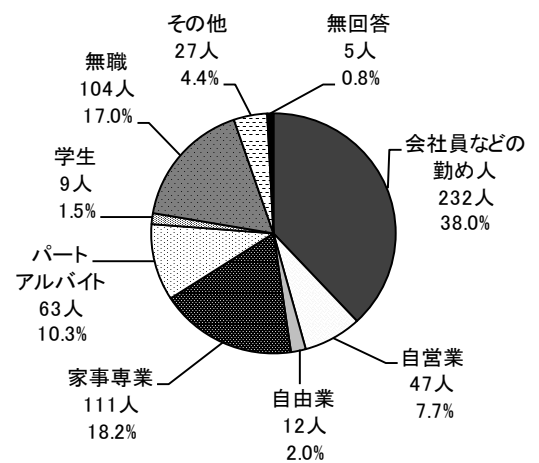
男性	女性	無回答
219人	369人	22人
35.9%	60.5%	3.6%

○無作為抽出では2,000人のうち、男性949人(47.5%)、女性1,051人(52.6%)でした。

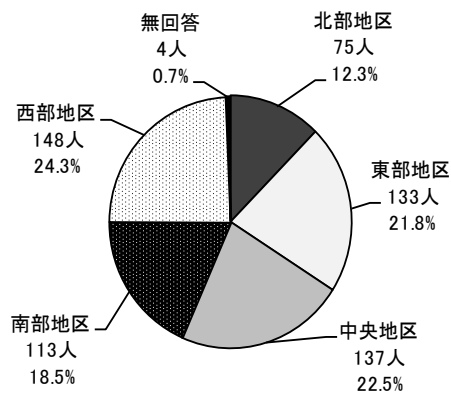
### < 年齢 >



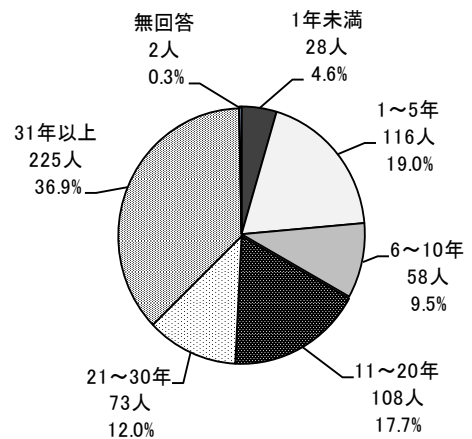
### < 職業 >



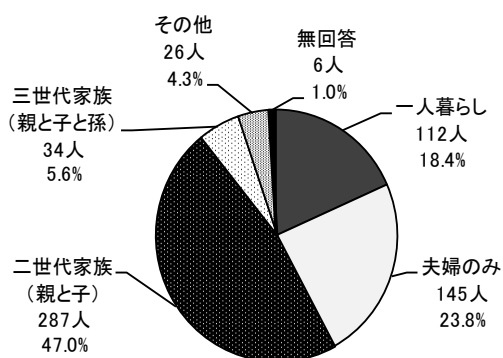
### < 居住地区 >



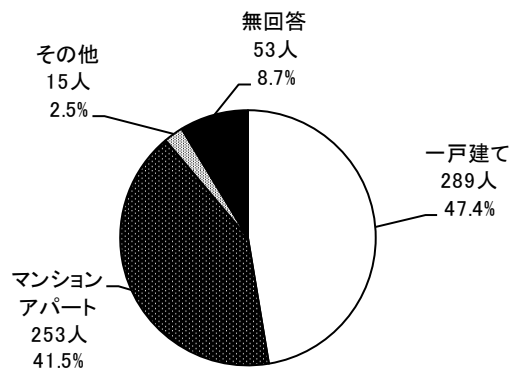
### < 居住年数 >



### < 世帯構成 >



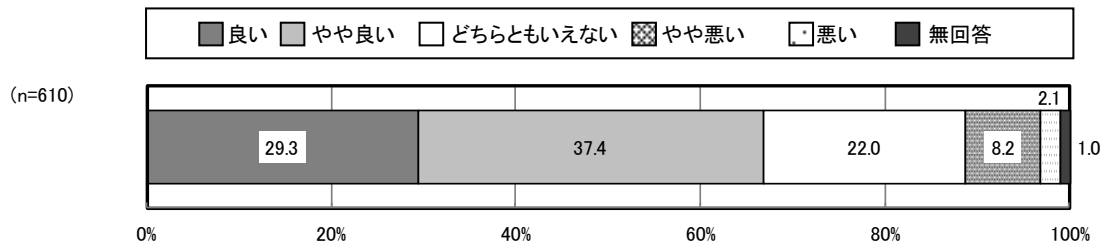
### < 住宅の種類 >



## ■ 単純集計

### 1. 現在お住まいの身近な環境について（問1～問6）

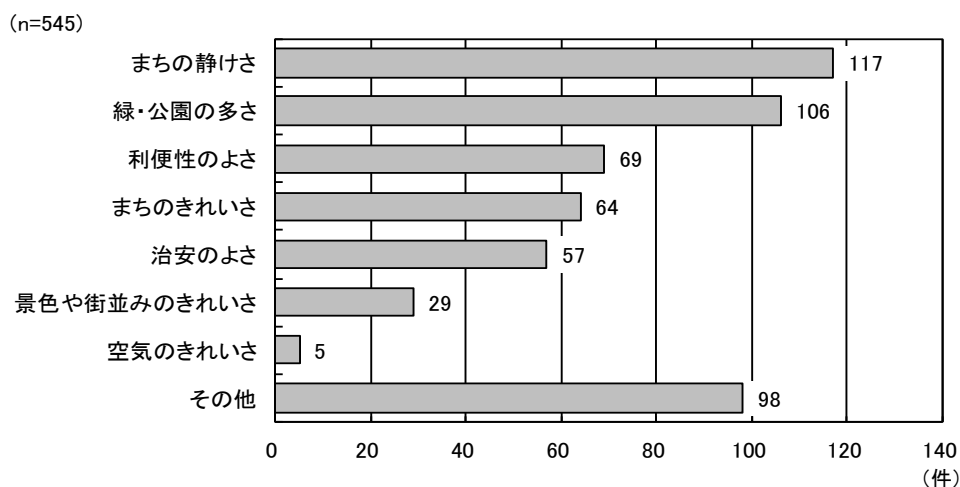
問1 身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。



○ 「良い」・「やや良い」を合計した割合が66.7%であり、「悪い」・「やや悪い」を合計した割合の10.3%を大きく上回っています。このことから、身近な環境について良いと感じている人が多いことがうかがえます。

問2 問1で回答した理由をご記入ください(自由回答)。

<「良い」と思う理由 回答者数：367人、延べ回答件数：545件>



【具体的な内容（抜粋）】

#### まちの静けさ

- ・ 車の騒音もなく落ち着いている
- ・ 閑静な住宅街が多い など

#### 緑・公園の多さ

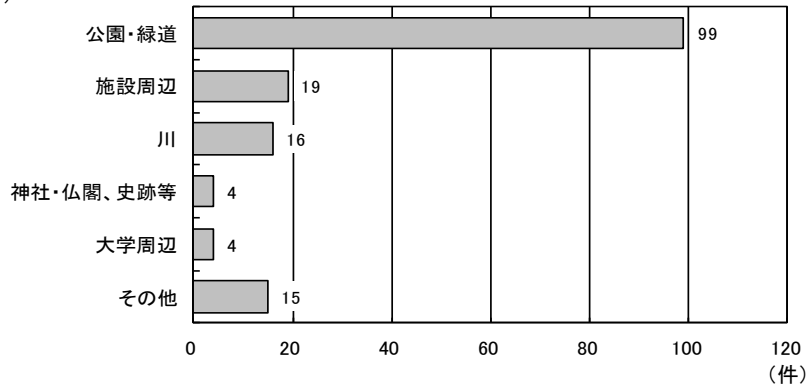
- ・ 公園が近く、緑が多い
- ・ 道端、公園にごみが少ない
- ・ 季節ごとに違う生き物の鳴き声を聞くことができる など

#### 利便性のよさ

- ・ 交通の便がよい
- ・ 病院や駅、商店街が近いので便利 など

<「良い」と思う場所 回答者数：124人、延べ回答件数：157件>

(n=157)



【具体的な内容（抜粋）】

公園・緑道

- ・ 林試の森公園、駒沢公園、碑文谷公園、駒場公園、呑川緑道 など

施設周辺

- ・ 区民センター、めぐろパーシモンホール

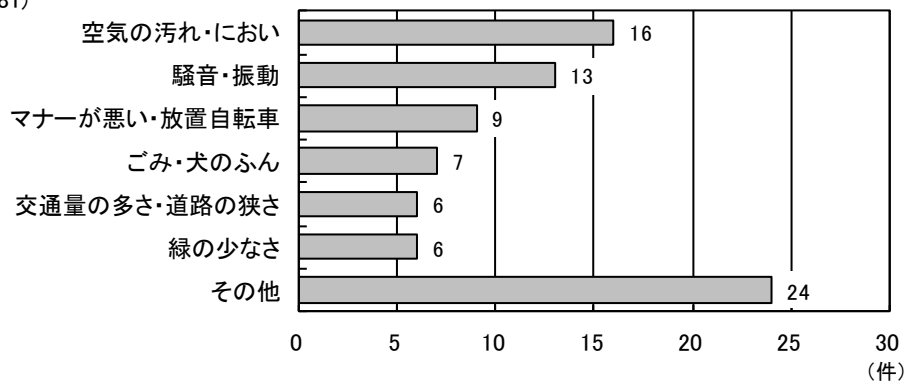
川

- ・ 目黒川 など

- 身近な環境を良いと感じるキーワードとして、まちの静けさと緑の多さ、利便性が挙げられます。
- 「良い」と思う場所では、157件中99件が公園や緑道に関する場所であり、自然が感じられる場所が回答される傾向にありました。

<「悪い」と思う理由 回答者数：61人、延べ回答件数：81件>

(n=81)



【具体的な内容（抜粋）】

空気の汚れ・におい

- ・ 川沿いで悪臭がする
- ・ 車の排気ガス など

騒音・振動

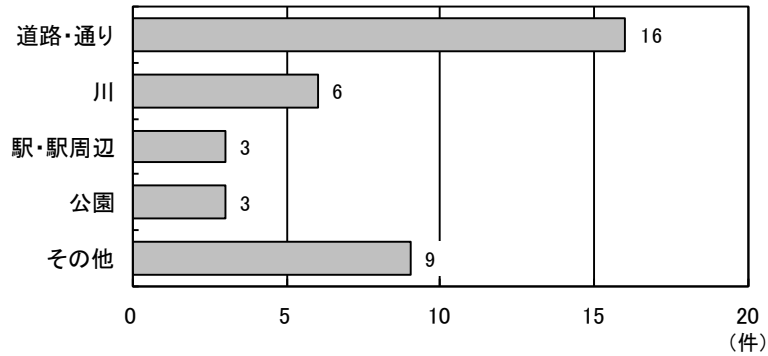
- ・ 車による騒音、振動
- ・ 近隣の生活騒音 など

マナーが悪い・放置自転車

- ・ ごみ出し・喫煙者のマナーが悪い など

<「悪い」と思う場所 回答者数：34人、延べ回答件数：37件>

(n=37)



【具体的な内容（抜粋）】

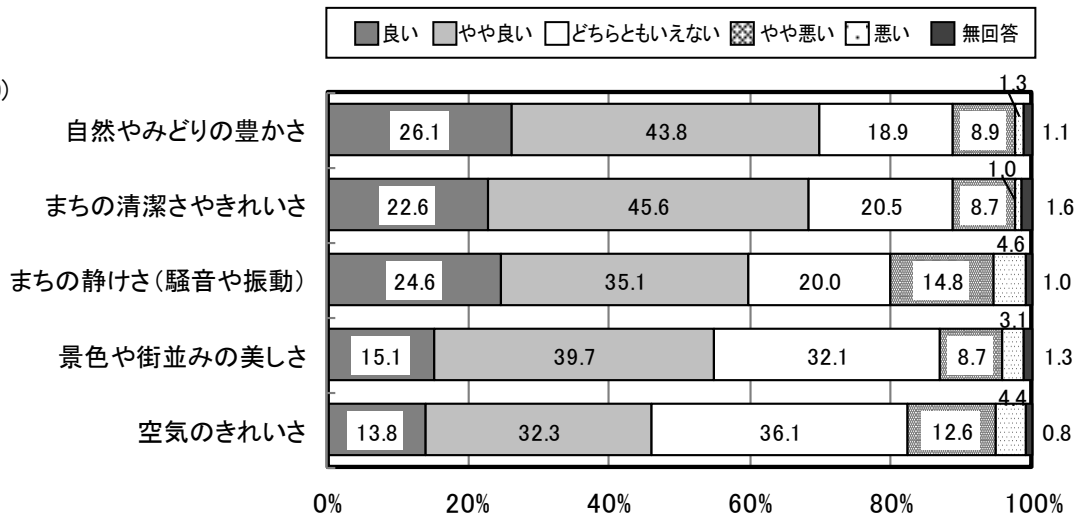
道路・通り

- ・ 目黒通り・山手通り・環状7号線の騒音
- ・ 歩道が狭い など

- 身近な環境を悪いと感じるキーワードとして、空気の汚れ・におい、騒音・振動が挙げられます。
- 「悪い」と思う場所では、37件中16件が道路に関する場所でした。

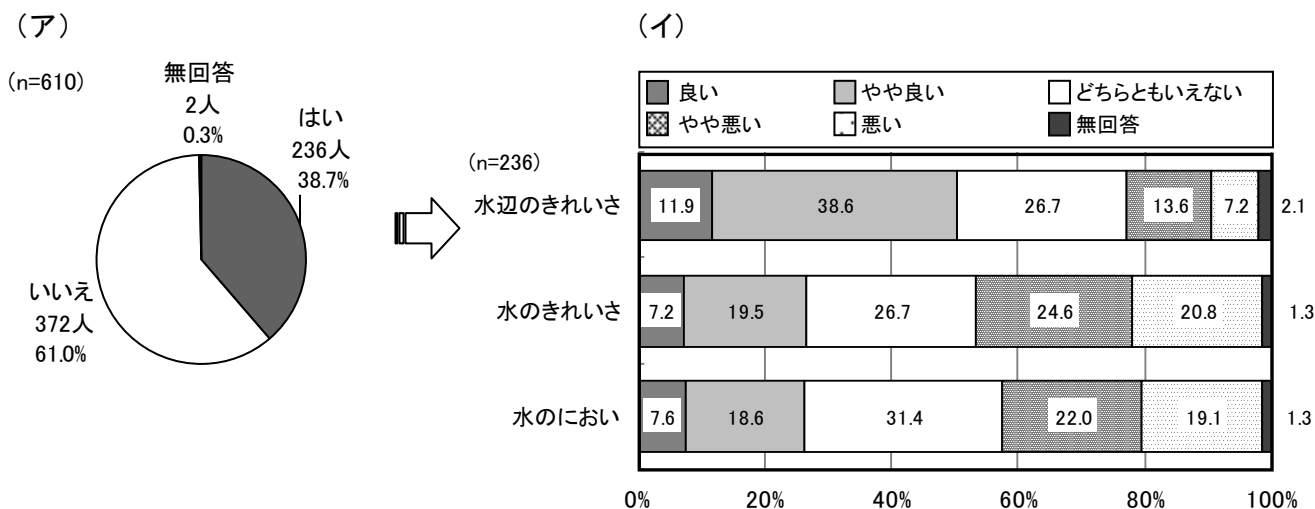
問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

(n=610)



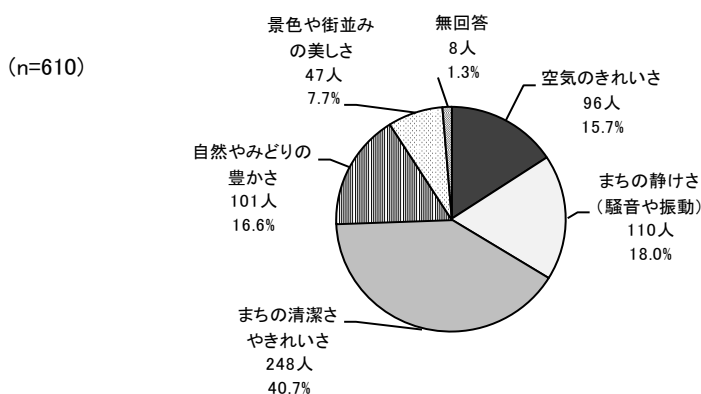
- すべての項目で、「良い」・「やや良い」を合計した割合が、「悪い」・「やや悪い」を合計した割合よりも高くなっています。
- 平成28年度と比較すると、「まちの清潔さやきれいさ」以外では、「良い」・「やや良い」の割合が増加しています。
- 一方で、すべての項目で平成28年度と比較して「良い」と感じている人は減少しています。

問4 (ア) お住まいの近くに川や池がありますか。  
 (イ) お住まいの近くに川や池があるかたにお聞きします。



- 住まいの近くに川や池があると回答した人は、38.7%でした。
- 「水のきれいさ」(26.7%)、「水のおいしさ」(26.2%)は、「良い」・「やや良い」の合計の割合が「悪い」・「やや悪い」の合計の割合より下回っています。
- 「水辺のきれいさ」は、「良い」・「やや良い」を合計した割合が50.5%であり、「悪い」・「やや悪い」を合計した値の20.8%より高くなっています。
- 平成28年度と比較すると、すべての項目において「良い」の割合が約2~4%減少しています。

問5 身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。

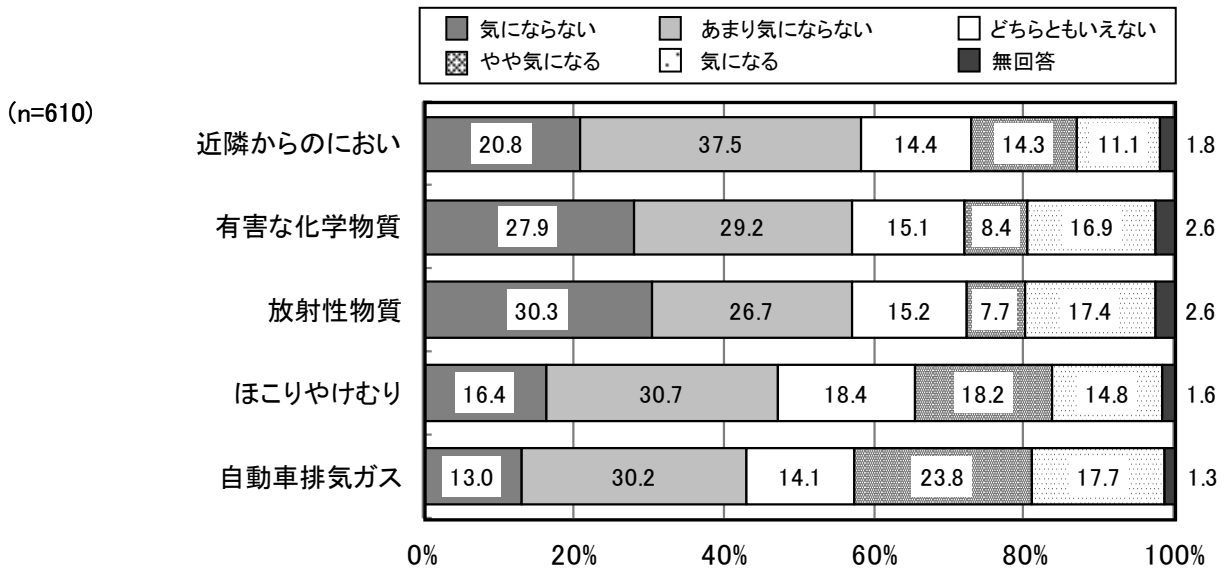


- 最も重要と思う項目としては、「まちの清潔さやきれいさ」が40.7%と最も多くなっています。次いで、「まちの静けさ」が18.0%、「自然やみどりの豊かさ」が16.6%となっています。



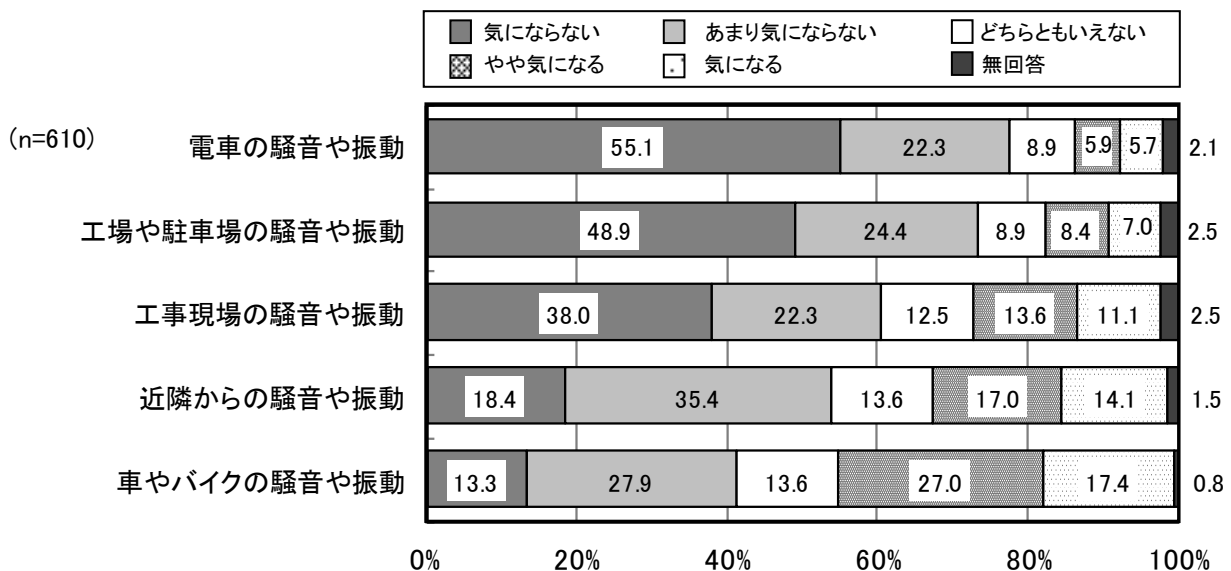
問6 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

(1) 空気のきれいさについて



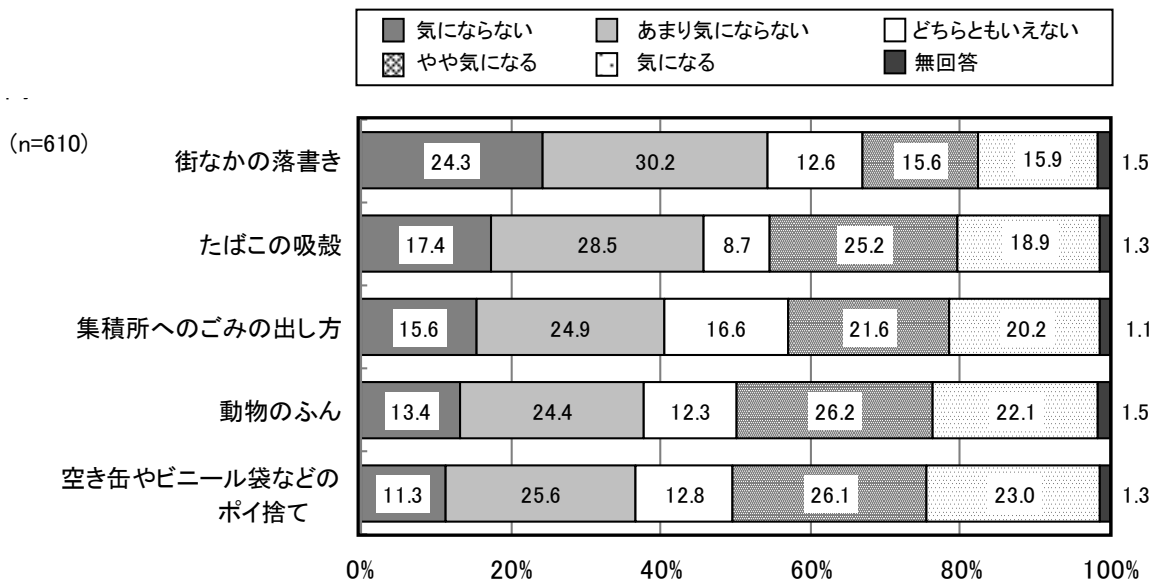
- 空気について、「気になる」・「やや気になる」を合計した割合が最も高い項目は、「自動車排気ガス」で、41.5%となっています。
- すべての項目において、「気にならない」・「あまり気にならない」の合計の割合が「気になる」・「やや気になる」の合計の割合を上回っています。

(2) まちの静けさ（騒音や振動）について



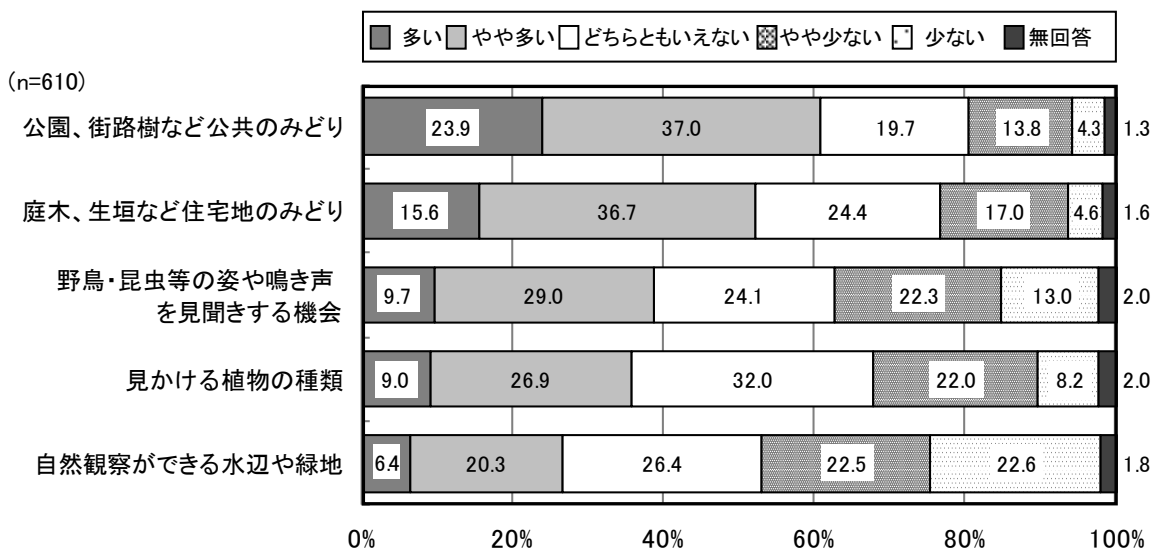
- 静けさについて、「気になる」・「やや気になる」を合計した割合が最も高い項目は、「車やバイクの騒音や振動」で、44.4%となっています。
- 「車やバイクの騒音や振動」以外の項目については、「気にならない」・「あまり気にならない」の合計の割合が「気になる」・「やや気になる」の合計の割合を上回っています。

### (3) まちの清潔さやきれいさについて



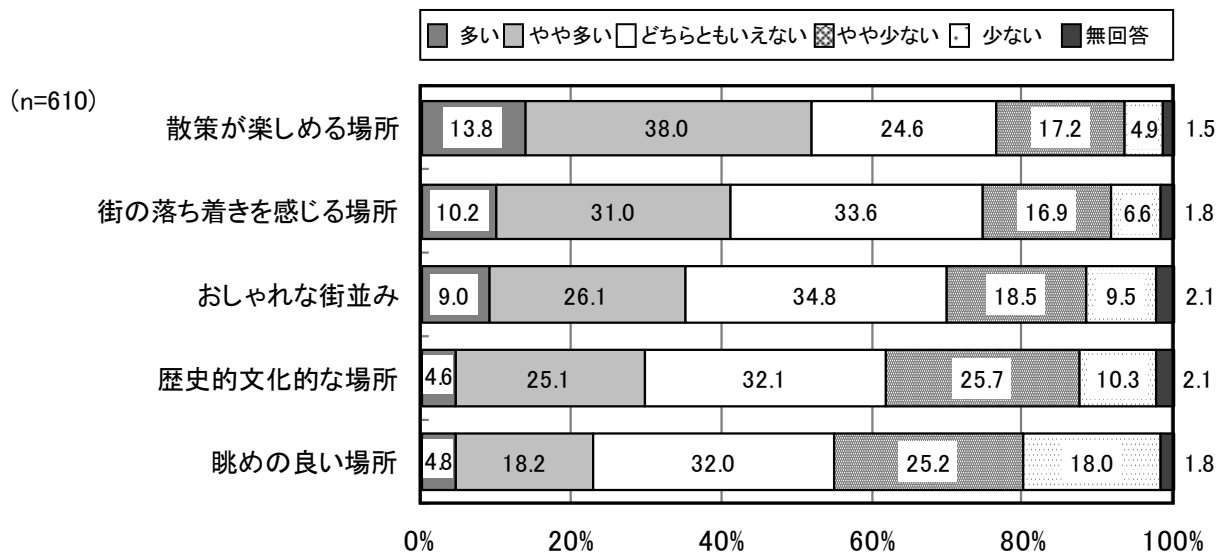
- 清潔さやきれいさについて、「気になる」・「やや気になる」を合計した割合が最も高い項目は、「空き缶やビニール袋などのポイ捨て」で、49.1%となっています。次いで「動物のふん」(48.3%)、「たばこの吸殻」(44.1%)となっています。
- 「集積所へのごみの出し方」「動物のふん」「空き缶やビニール袋などのポイ捨て」の項目では、「気になる」・「やや気になる」の合計の割合が、「気にならない」・「あまり気にならない」の合計の割合を上回っています。

### (4) 自然やみどりの豊かさについて



- 自然やみどりについて、「多い」・「やや多い」と感じているのは、「公園、街路樹など公共のみどり」(60.9%)で、次いで「庭木、生垣など住宅地のみどり」(52.3%)となっています。
- 自然やみどりの量は多く感じているものの、みどりとのふれあいの場や機会が少ないと感じていることがうかがえます。

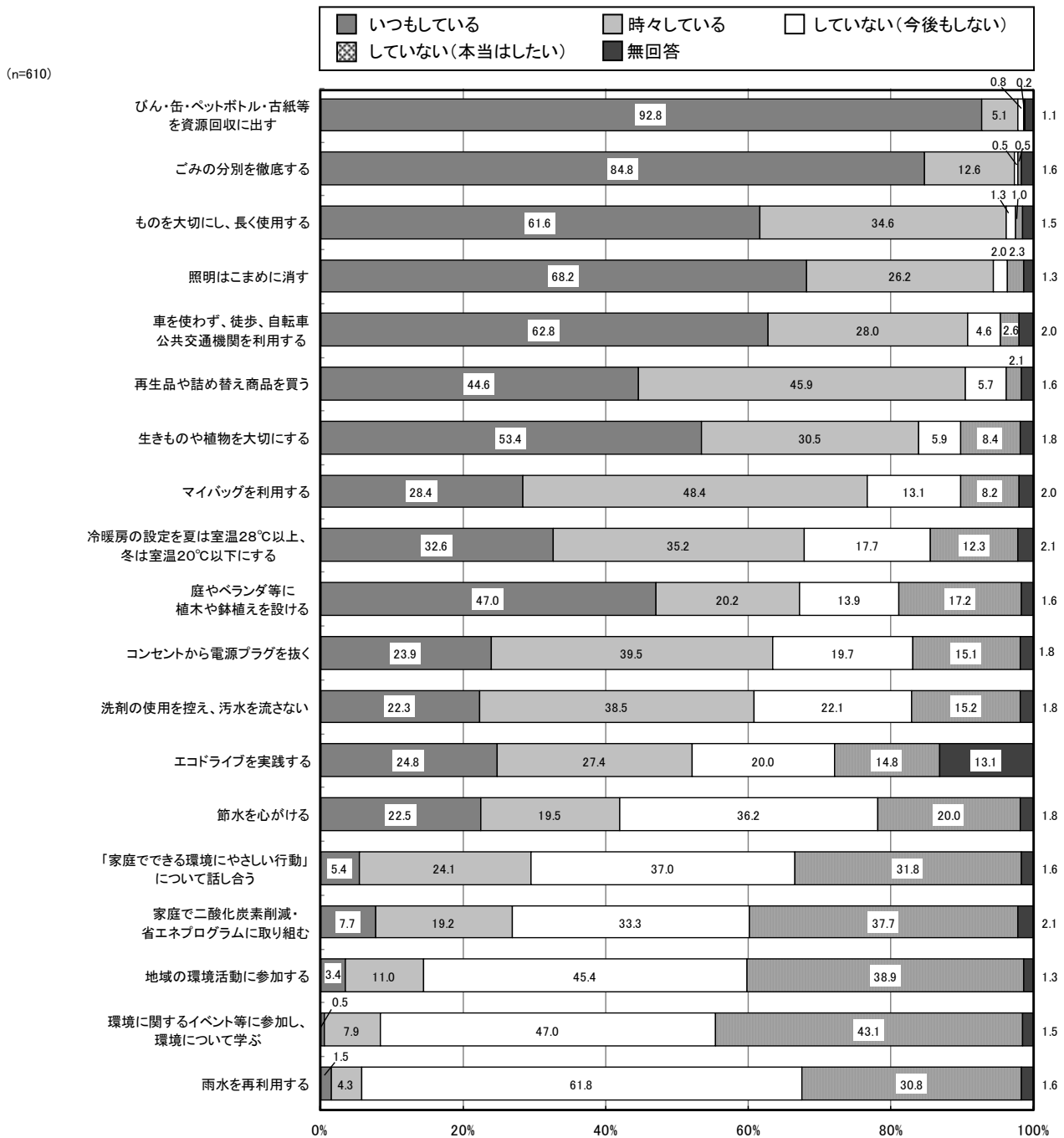
(5) 景色や街並みの美しさについて



- 景色や街並みの美しさについて、「多い」・「やや多い」の合計の割合が最も高いのは、「散策が楽しめる場所」(51.8%)であり、次いで「街の落ち着きを感じる場所」(41.2%)となっています。
- 平成28年度と比較して「おしゃれな街並み」「歴史的文化的な場所」「眺めの良い場所」において、「多い」・「やや多い」の合計の割合が増加しています。

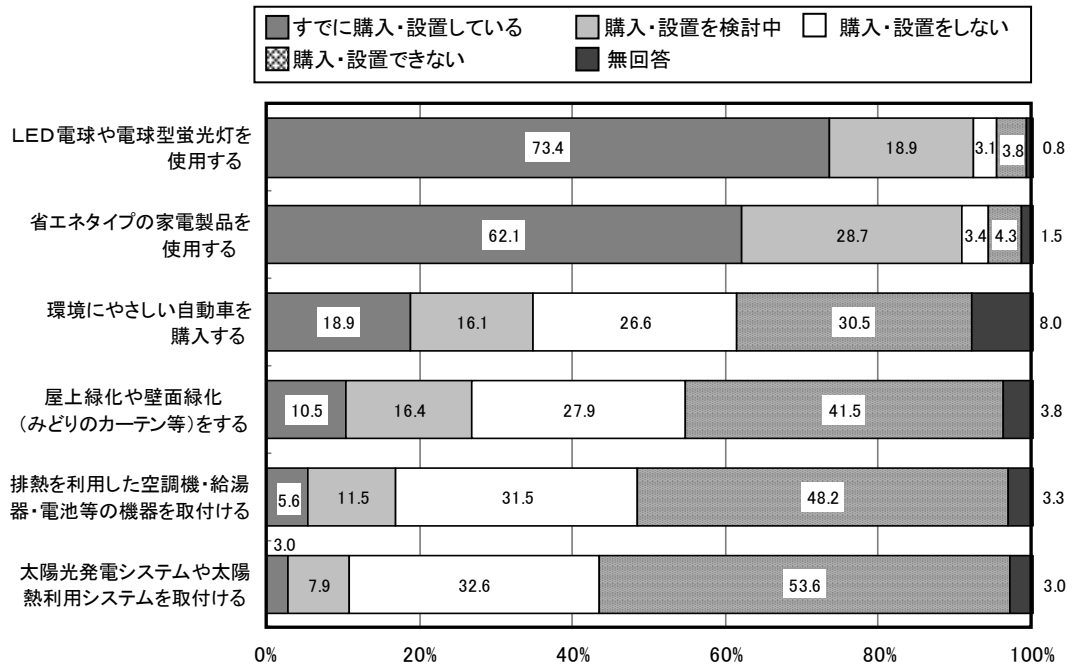
## 2. 環境にやさしい行動の取組状況について（問7～問10）

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。



- 資源回収やごみの分別、ものを長く使うこと、こまめな消灯、車を使わず公共交通機関を利用すること、再生品や詰め替え商品を買うことは、「いつもしている」・「時々している」の合計の割合が9割を超えており、取組として定着していることがうかがえます。
- 平成28年度と比較すると、「冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は20℃にする」「『家庭でできる環境にやさしい行動』について話し合う」「地域の環境活動に参加する」は、「いつもしている」・「時々している」の合計の割合が4～8%減少していますが、「庭やベランダ等に植木や鉢植えを設ける」「洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする」は、約3%増加しています。それ以外の項目における取組状況は、ほぼ横ばいとなっています。

(n=610)

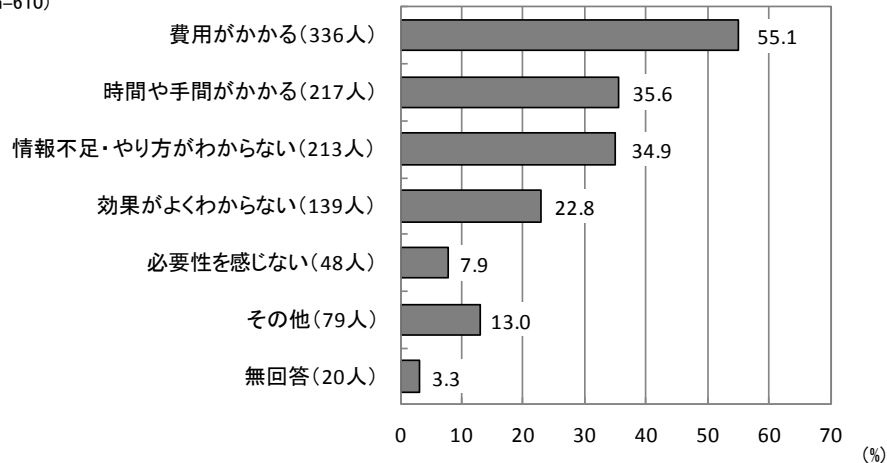


- 「すでに購入・設置している」が高い項目は、「LED電球や電球型蛍光灯を使用する」(73.4%)、「省エネタイプの家電製品を使用する」(62.1%)となっています。また、両項目の「購入・設置を検討中」を含めると、90%を超えた値となります。
- 「すでに購入・設置している」が低い項目としては、「太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取付ける」(3.0%)、「排熱を利用した機器を取付ける」(5.6%)となっています。両項目とも「購入・設置できない」の割合が45%を超えています。この理由としては、価格が高いことと、賃貸住宅など居住形態による物理的な制約があることが考えられます。

資料編

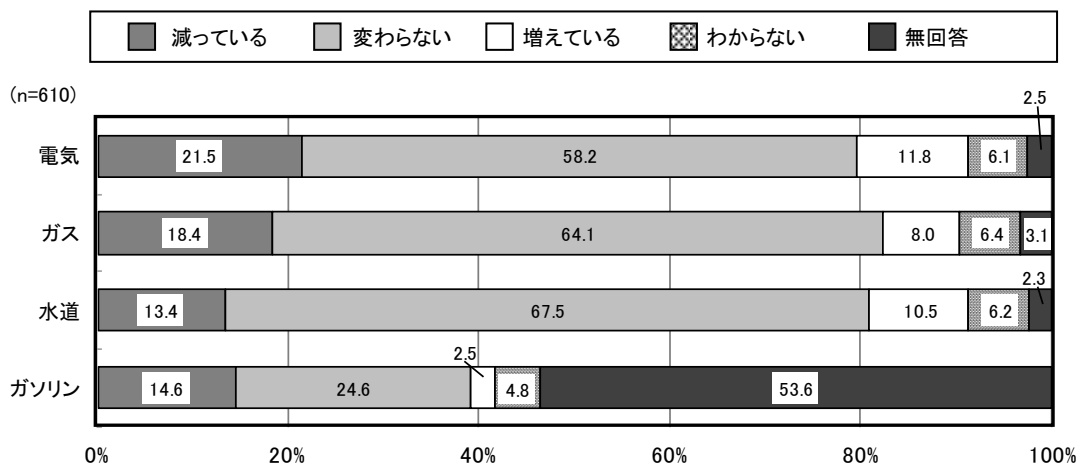
問8 あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。【複数回答】

(n=610)



- 取り組むことが難しい理由としては、「費用がかかる」が最も高い割合(55.1%)を占めています。次いで、「時間や手間がかかる」(35.6%)、「情報不足・やり方がわからない」(34.9%)となっています。
- 「その他」は、「賃貸・マンションのため」(38件)が最も多く、「年齢・体力的に難しい」(12件)、「できることはやっている」(6件)などの回答がありました。

問9（ア）あなたの世帯の電気・ガス・水道・ガソリン（車）の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。



- 電気、ガス、水道、ガソリン（車）のすべての項目において、使用量が「減っている」という返答が「増えている」の割合を超えています。
- 電気やガス、水道で「変わらない」と回答している人が多いのは、既に節約が定着している人も含まれていると考えられます。

問9（イ）変化したり使用量削減のための工夫などを記入してください。

<減少の理由 回答者数：178人、延べ回答件数：230件>

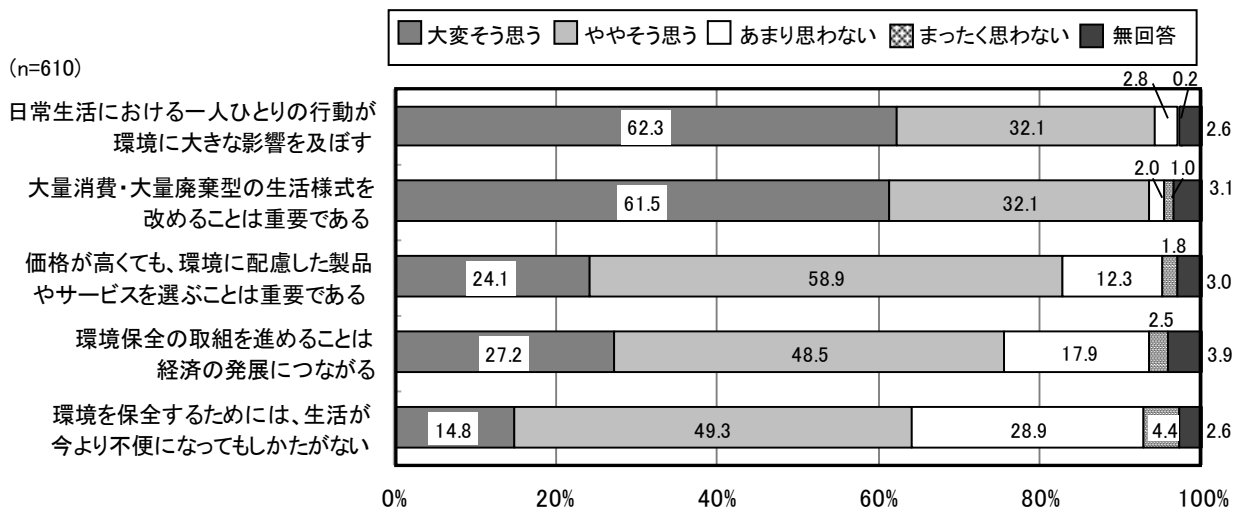
理由	件数	具体例
生活・行動スタイルが変わったため	92	・転居し、住宅が狭くなった。 ・洗濯物を手洗いして、洗濯機の使用回数を減らしている。 ・家族に注意を呼びかけた。
省エネ機器を導入したため	49	・LED電球、省エネ家電へ買い替えた。 ・エコカーにした。 ・太陽光発電にした。
節電・節約を心がけているため	49	・使用していない電化製品の電源はこまめに消す。 ・お風呂は続けて入るなどを意識している。 ・冷暖房機器の使用を控えた。
交通手段を変えたため	27	・なるべく徒歩で移動するか、公共機関などを利用する。 ・車をなるべく使用せず、自転車を使用している。
家族が減ったため	13	・家族構成が変わった。

<増加の理由 回答者数：60人、延べ回答件数：70件>

理由	件数	具体例
生活・行動スタイルが変わったため	36	・転居し、住宅が広くなった。 ・家にいる時間が増えた。
家族が増えたため	22	・子どもが増えた。
気候が厳しいため	6	・冬が寒かった。 ・暑い日が続き、クーラーや扇風機をよく利用した。
電化製品を増やしたり、変えたため	3	・電気自動車にした。 ・冷暖房設備を変えた。
料金が上がったため	3	・電気・ガス・水道・ガソリン代が値上げした。

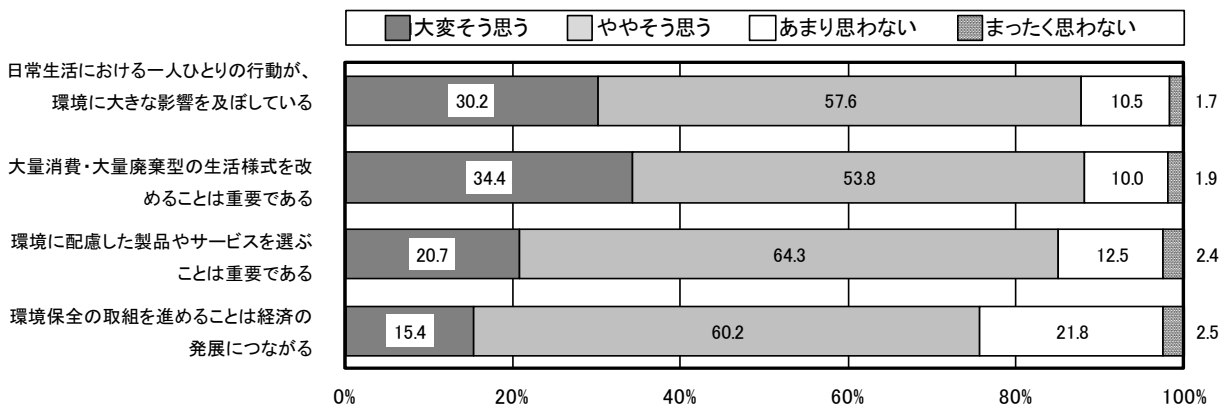
- 減少の理由、増加の理由ともに、「生活・行動スタイルが変わったため」が最も多く、延べ回答件数の40～50%を占めています。特に減少の理由については、平成28年度と比較して「生活・行動スタイルが変わったため」が約2倍に増加しています。

問10 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。



- すべての項目で「大変そう思う」・「ややそう思う」の合計値が60%以上となり、環境に対する取組について、肯定的な意見を持つ人が多いことがうかがえます。
- 平成28年度と比較して、大きな変化は見られませんでした。
- 次の〈参考〉にある環境省の調査結果と比べると、すべての項目で「大変そう思う」の割合が目黒区の調査結果のほうが高くなっています。

〈参考〉環境省の調査結果



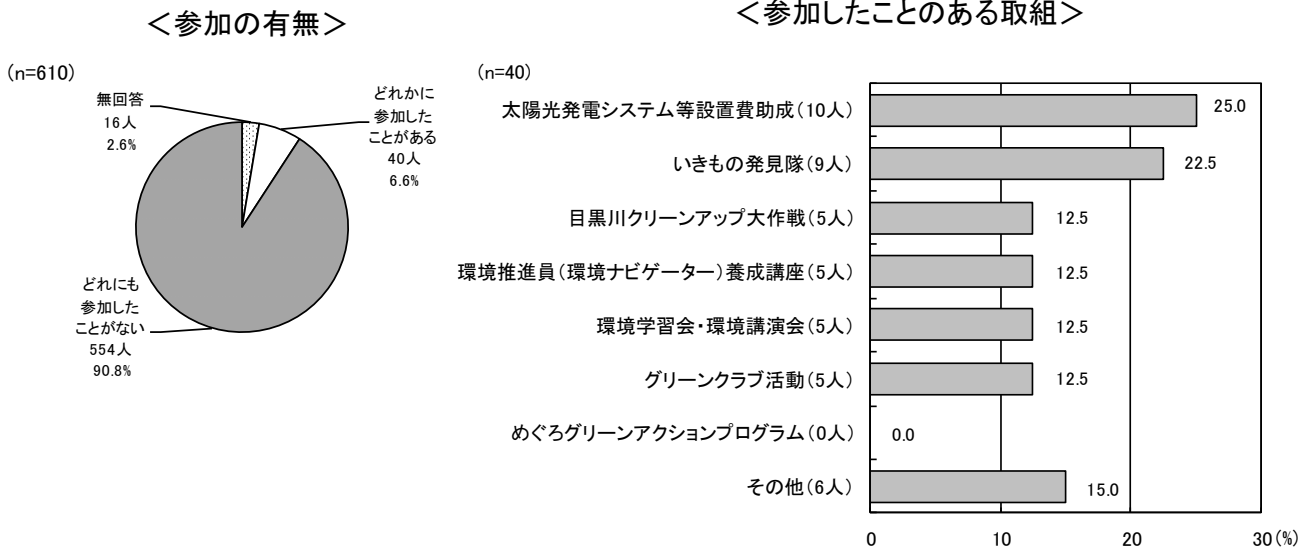
WEB

環境省>総合環境政策>環境基本計画>環境にやさしいライフスタイル実態調査等>平成28年度調査  
環境にやさしいライフスタイル実態調査（国民調査の結果）>2. 結果の概要>2.5環境問題に対する考え方等への意見・考え

出典 環境省ホームページより（調査結果一部抜粋）

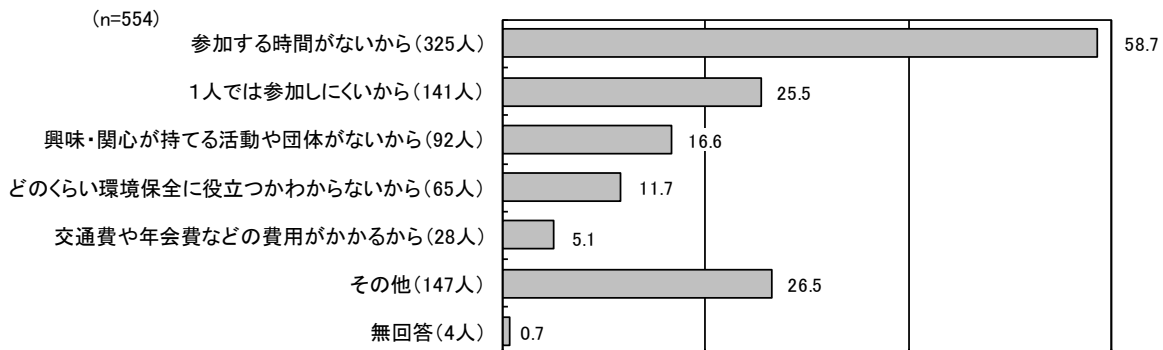
### 3. 目黒区で行っている環境保全活動について（問11～問16）

問11(ア) 区では、枠内に示すような環境保全に関する取組・支援を行っています。これらの取組に参加したことがありますか。【複数回答】



- 環境保全に関する取組に「どれも参加したことがない」が90.8%となっています。
- 参加したことがある取組の中では、「いきもの発見隊」（22.5%）と「環境学習会・環境講演会」（12.5%）が平成28年度と比較すると増加しています。
- 「その他」では、「掃除活動」（3件）、「学校やサッカークラブでのごみ拾い」（1件）などの回答がありました。

問11(イ) どれも参加したことがない方のみにお聞きします。参加できない理由は何ですか。【複数回答】

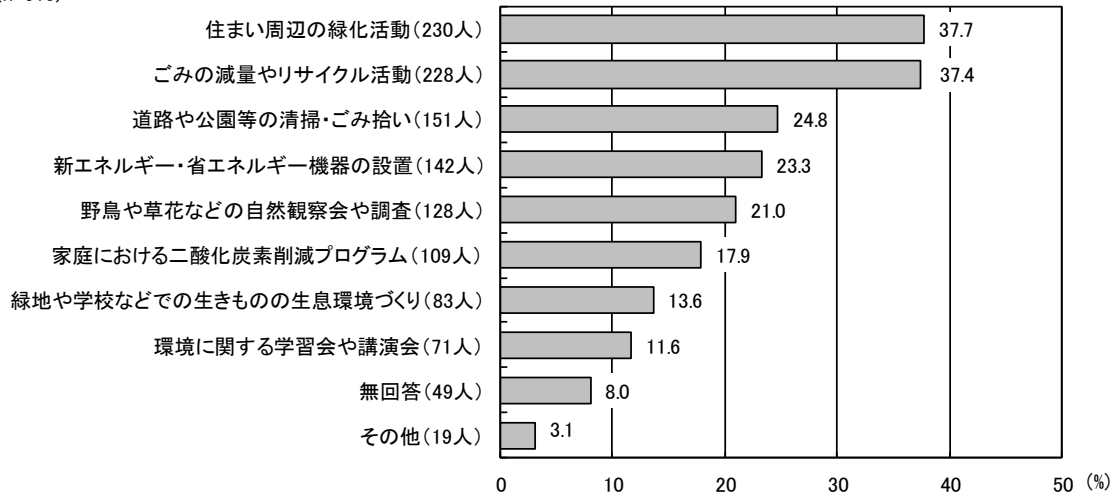


- 参加していない理由としては、「参加する時間がないから」が58.7%と最も多くなっています。次いで、「1人では参加しにくいから」（25.5%）、「興味・関心が持てる活動や団体がないから」（16.6%）となっています。
- 「その他」の理由としては、「知らなかった、情報不足」（84件）、「高齢、体調不良」（26件）、「転入したばかり」（10件）などの回答がありました。



問12 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。【複数回答】

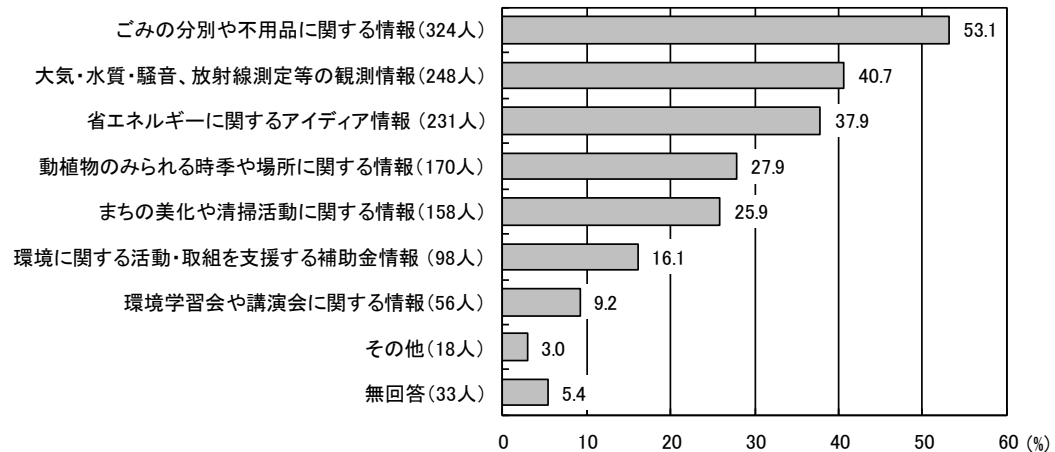
(n=610)



○ 興味がある活動としては、「住まい周辺の緑化活動」(37.7%)が最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクル活動」(37.4%)、「道路や公園等の清掃・ごみ拾い」(24.8%)となっています。

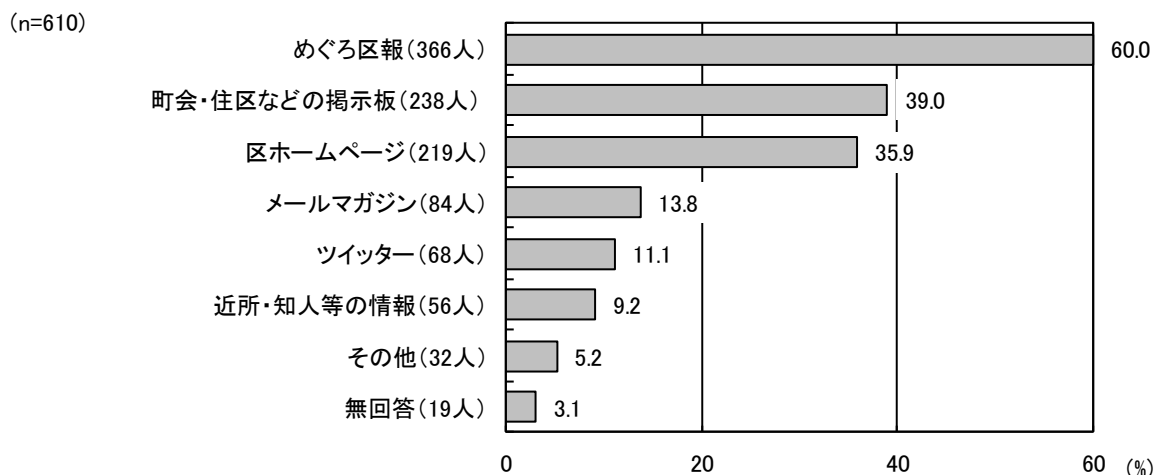
問13 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。【複数回答】

(n=610)



○ 「ごみの分別や不用品に関する情報」(53.1%)が最も多く、次いで「大気・水質・騒音、放射線測定等の観測情報」(40.7%)、「省エネルギーに関するアイデア情報」(37.9%)と続き、その順位や比率は平成28年度とほぼ変わりません。

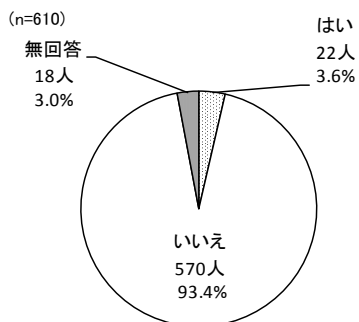
問14 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】



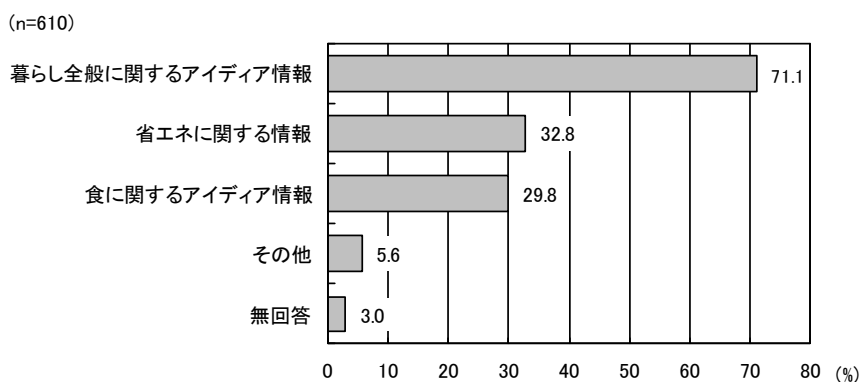
- 「めぐろ区報」が60.0%と最も多く、次いで「町会・住区などの掲示板」(39.0%)、「区ホームページ」(35.9%)となっています。
- 「その他」では、「フェイスブック・ライン」(8件)、「回覧板」(7件)、「郵送・チラシ」(2件)などの回答がありました。

問15 「めぐろスマートライフ」ホームページについてお聞きます。

(ア) <ホームページを知っている>

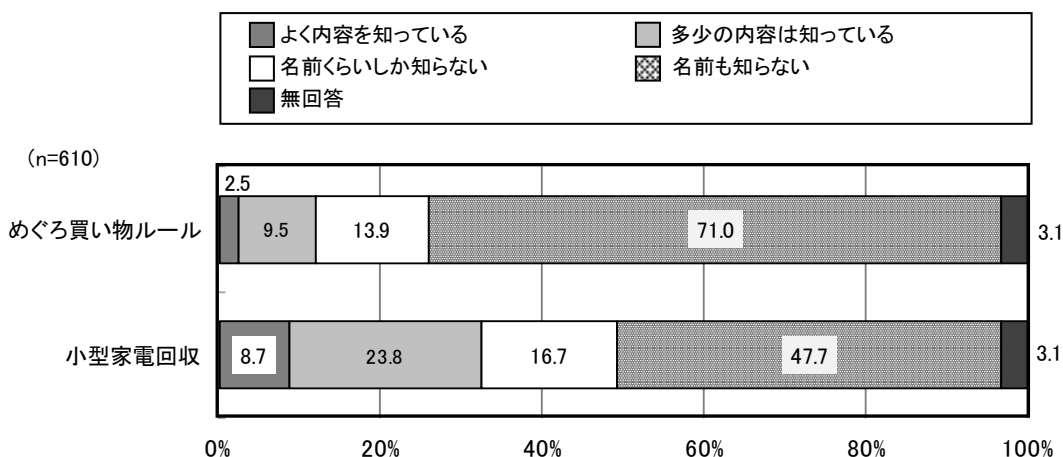


(イ) <今後、充実を望む情報>



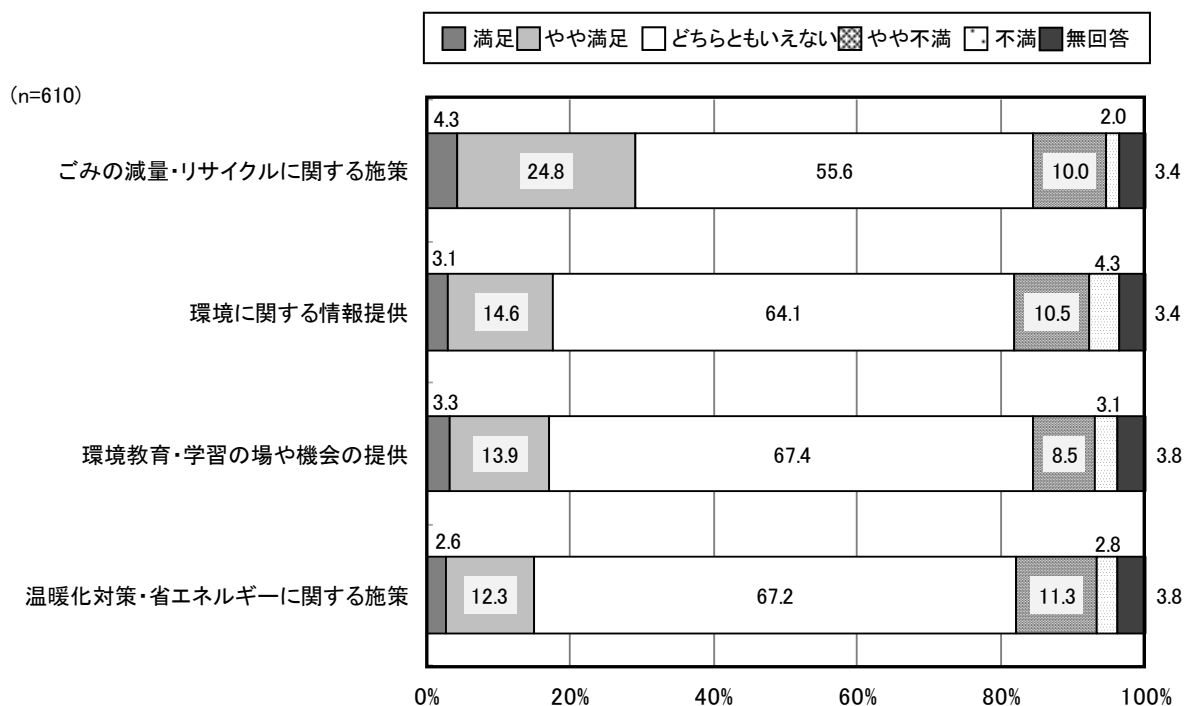
- 平成27年4月に開設した「めぐろスマートライフ」ホームページを知っている人は3.6%、知らない人は93.4%となっています。
- 今後、充実を望む情報は、「暮らし全般に関するアイデア情報」(71.1%)が一番多く、続いて「省エネに関する情報」(32.8%)、「食に関するアイデア情報」(29.8%)となっています。

問16 リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。



○ いずれの項目も、「名前も知らない」が45%以上となっています。特に「めぐろ買い物ルール」の「名前も知らない」は71.0%と、平成28年度と比較しても変化は見られず、定着していないことがうかがえます。

問17 目黒区の施策に関する満足度をお聞きします。



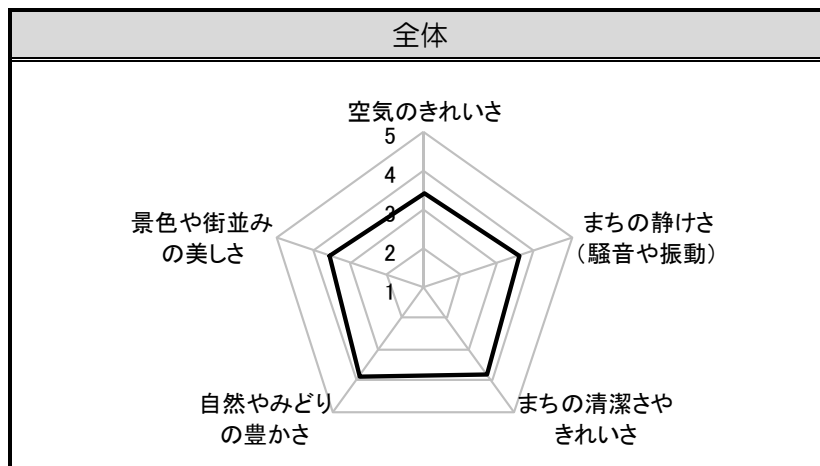
○ すべての項目において、「どちらともいえない」が50%以上となっています。  
 ○ 「ごみの減量・リサイクルに関する施策」の「満足」・「やや満足」の割合の合計は29.1%と、他の項目と比較すると満足度が高い結果となっています。  
 ○ すべての項目において、「満足」「やや満足」の合計が「不満」「やや不満」の合計を上回っています。

## ■ 身近な環境の感じ方

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

(全体集計)

<身近な環境を5段階で表したグラフ>



- 身近な環境にかかわる各項目についての評価点は、3.39～3.85点となりました。
- 5項目中最も評価点が高い項目は、「自然やみどりの豊かさ」(3.85点)でした。
- 5項目中最も評価点が低い項目は、「空気のきれいさ」(3.39点)でした。

### (グラフの見方について)

- ・ 評価点数の算出にあたっては、問3 (P.73) または問6 (P.75～77) の単純集計回答結果をもとにし、下表のとおり点数を割当て、集計した値をレーダーチャート形式で表示しています。
- ・ レーダーチャートのグラフの中心は1点、最外周は5点を示しています。
- ・ 問3のグラフから、身近な環境についての5項目に対する評価が相対的にわかります。
- ・ 問6のグラフからは、問3で聞いた身近な環境の5項目それぞれについて、さらに詳細な項目別の評価がわかります。
- ・ そこで、P.87～91では、居住地区別に詳細な項目別の評価結果を整理しました。項目別に評価点を分析することで、身近な環境の評価に影響を及ぼす要因を類推することができます。

<各問における点数の割当て>

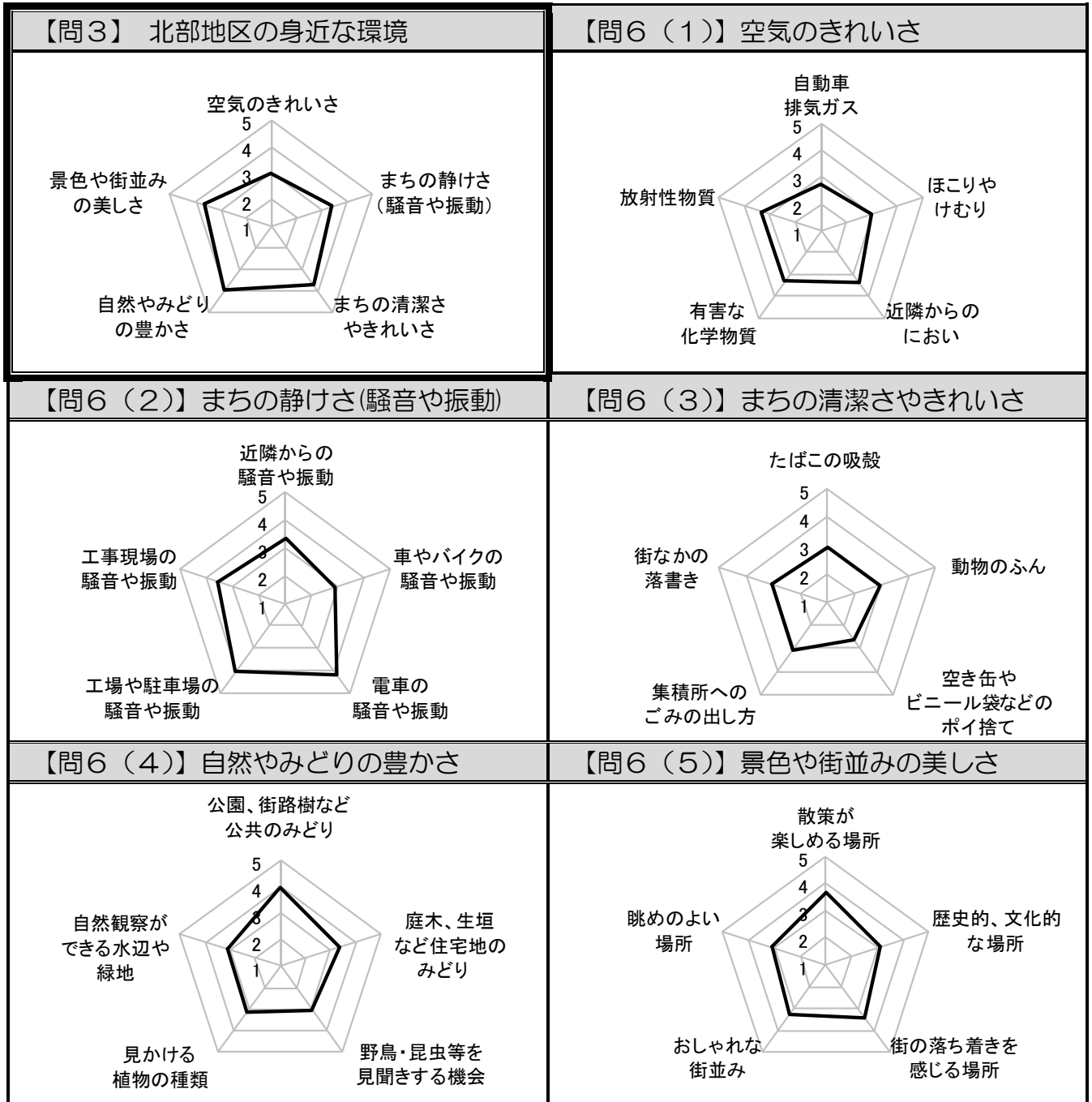
問3	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
	5	4	3	2	1
問6 (1)～(3)	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
	5	4	3	2	1
問6 (4)～(5)	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない
	5	4	3	2	1

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

問6 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

《 北部地区 》

〈北部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ〉

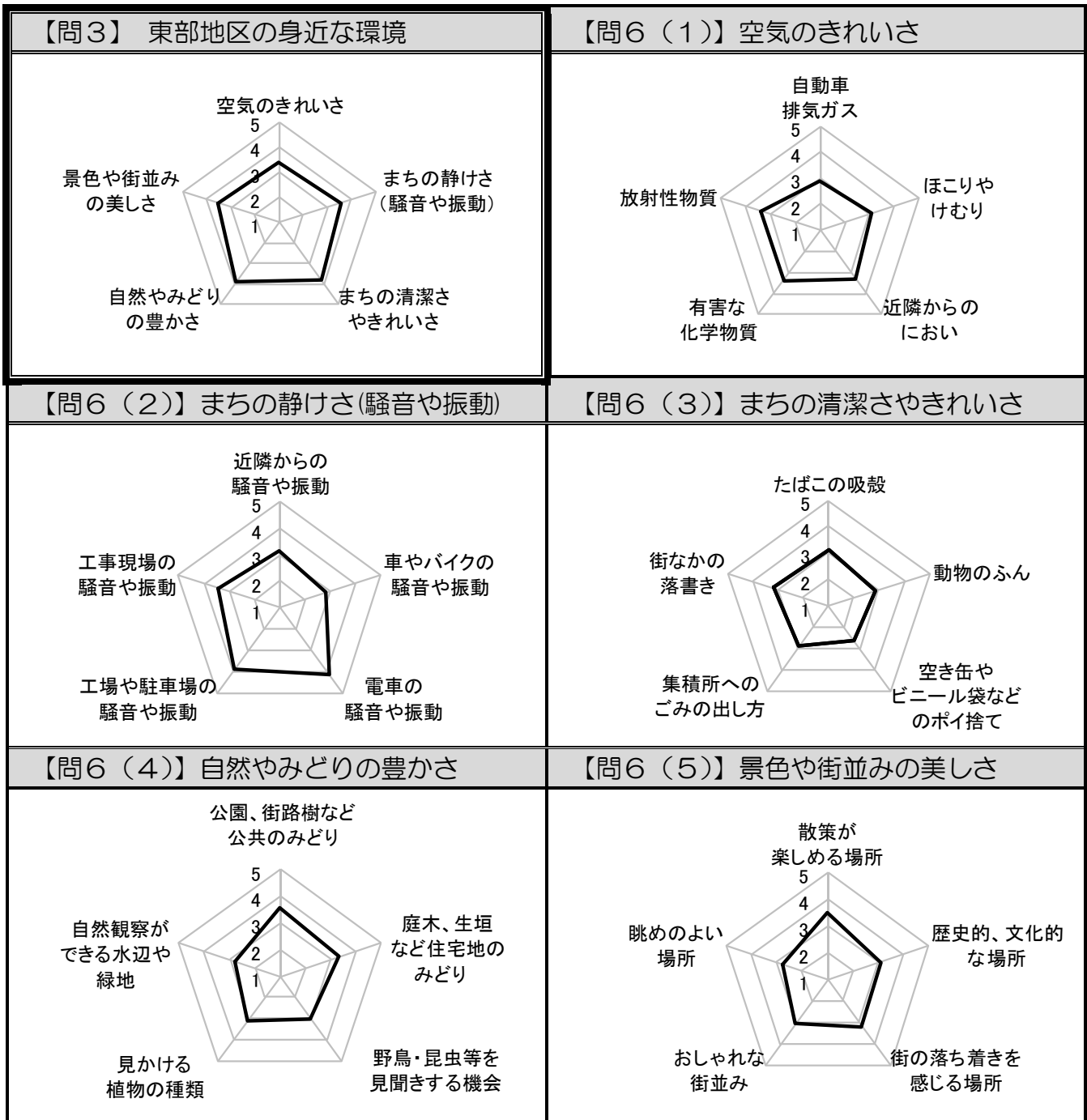


- 問3における身近な環境5項目の中では、「自然やみどりの豊かさ」が最も評価点が高くなっています。問6 (4) の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」が高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「空気のきれいさ」の評価点が低くなっています。問6 (1) の「空気のきれいさ」を項目別に見ると、「自動車排気ガス」の評価点が最も低くなっています。

資料編

《 東部地区 》

＜東部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞

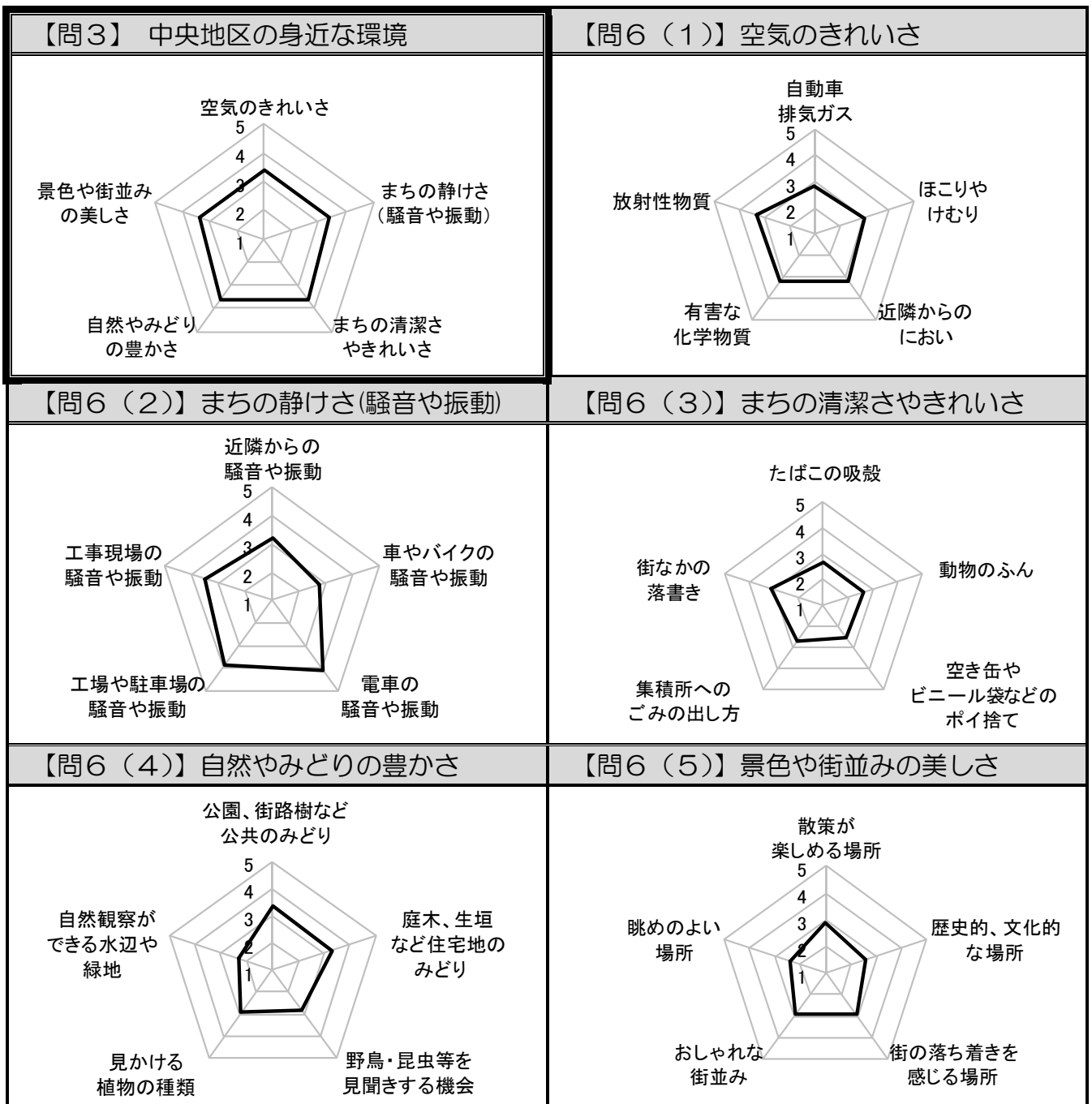


資料編

- 問3における身近な環境5項目の中では、「自然やみどりの豊かさ」の評価点が最も高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」や「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「空気のきれいさ」の評価点が低くなっています。問6(1)の「空気のきれいさ」を項目別に見ると、「自動車排気ガス」の評価点が最も低くなっています。

《 中央地区 》

＜中央地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞

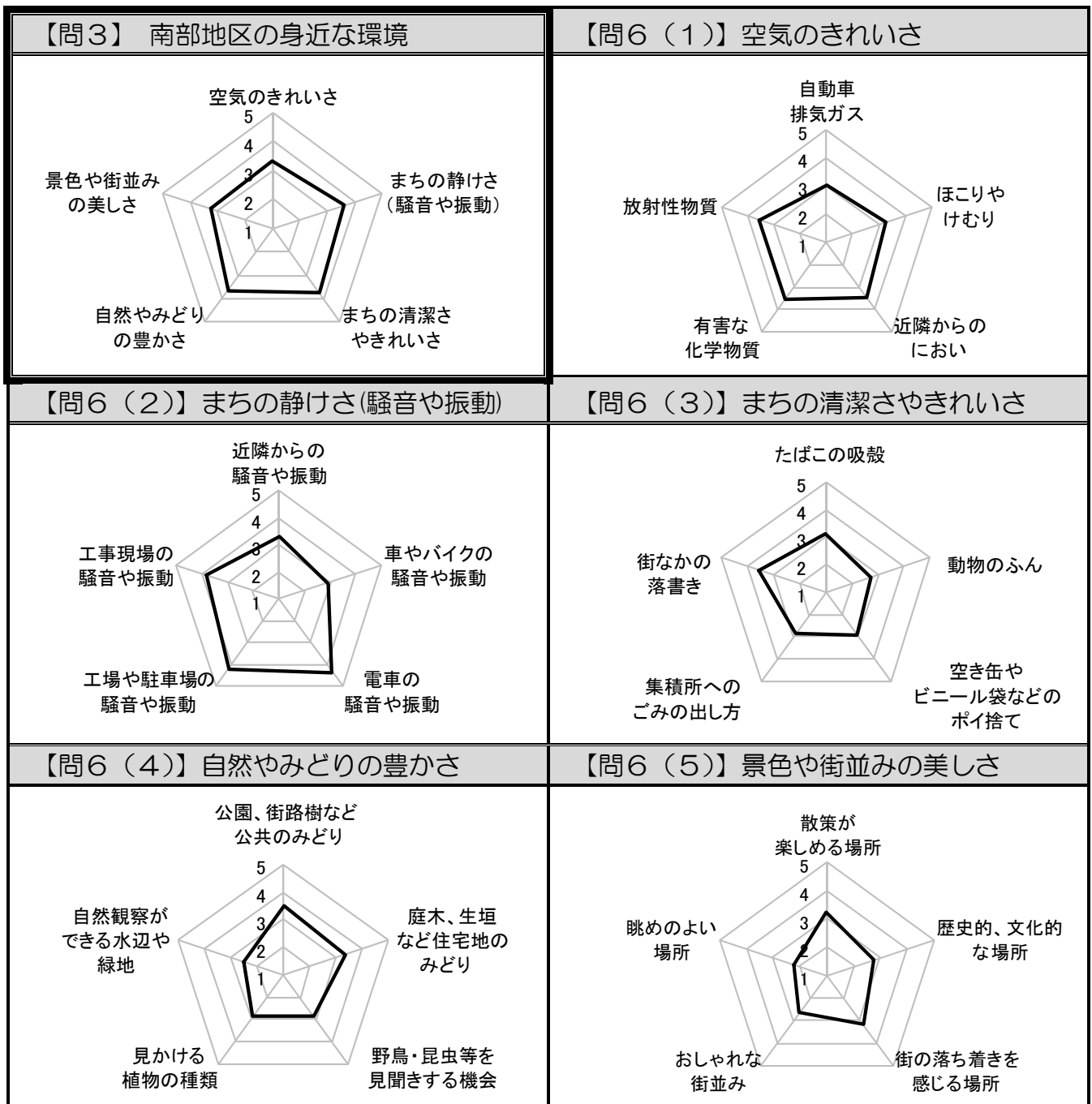


- 問3における身近な環境5項目の中では、「自然やみどりの豊かさ」の評価点が高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別に見ると、「公園、街路樹など公共のみどり」と「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「景色や街並みの美しさ」がやや低くなっています。問6(5)の「景色や街並みの美しさ」のすべての項目の評価点が、3点以下となっています。

資料編

## 《 南部地区 》

＜南部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞

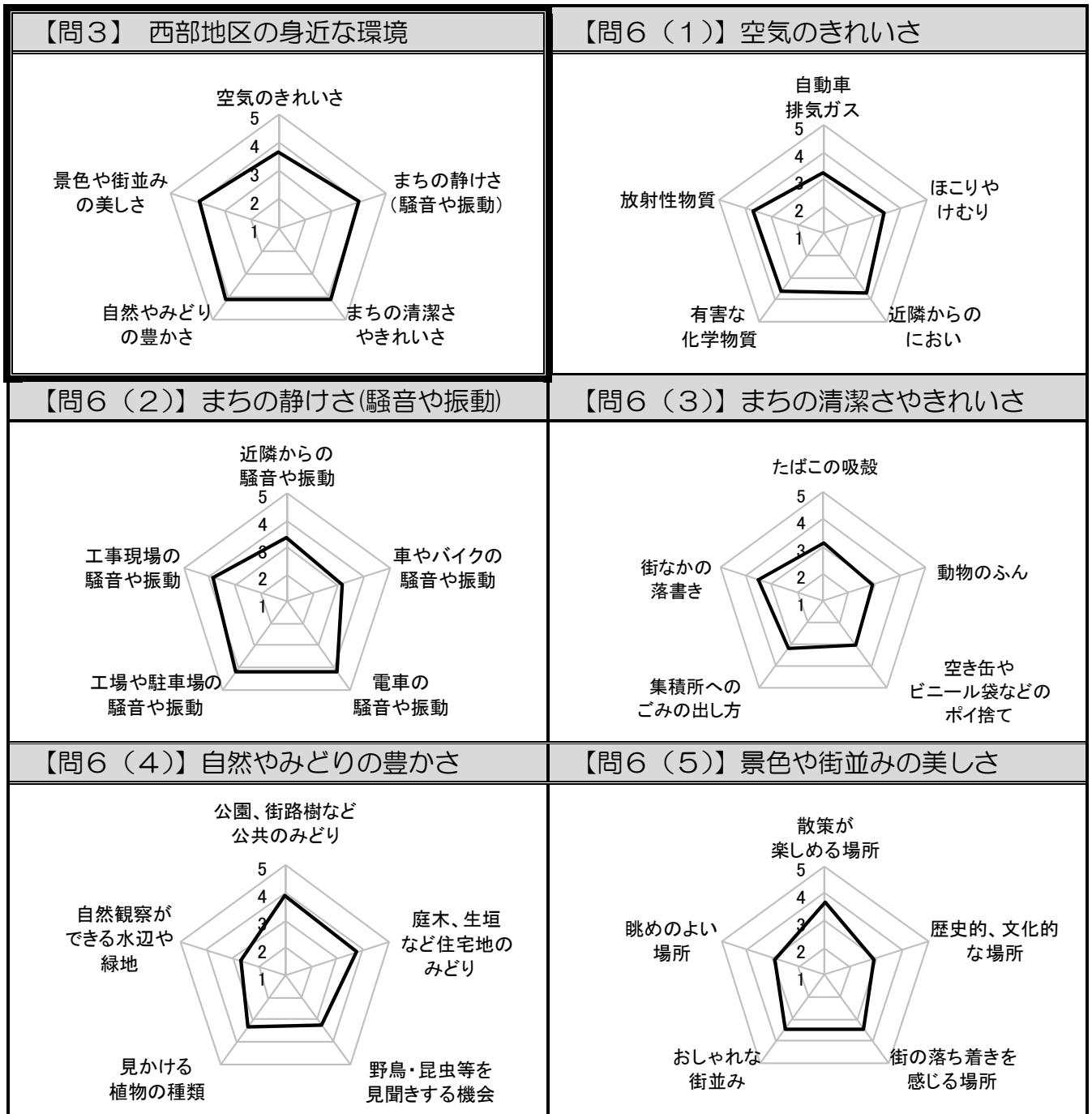


- 問3における身近な環境5項目の中では、「まちの清潔さやきれいさ」や「自然やみどりの豊かさ」の評価点が高くなっています。問6 (3) の「まちの清潔さやきれいさ」を項目別に見ると、「街なかの落書き」の評価点が、問6 (4) の「自然やみどりの豊かさ」を項目別に見ると、「公園、街路樹など公共のみどり」の評価点が最も高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「景色や街並みの美しさ」の評価点が低くなっています。問6 (5) の「景色や街並みの美しさ」を項目別にみると、「眺めのよい場所」の評価点が最も低くなっています。



《 西部地区 》

＜西部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞



資料編

- 問3における身近な環境5項目では、すべての項目において評価点が3.5点以上でした。その中でも、「自然やみどりの豊かさ」の評価点が最も高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」、「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「空気のきれいさ」の評価点がやや低くなっています。問6(1)の「空気のきれいさ」を項目別にみると、「自動車排気ガス」の評価点が最も低くなっています。

## ■ 年齢別等から見た環境にやさしい行動

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

(年齢別集計)

<「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ」の取組状況>

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ	18～29歳 (n=42)	30～39歳 (n=92)	40～49歳 (n=126)	50～59歳 (n=102)	60～69歳 (n=107)	70歳以上 (n=139)	問7単純 集計値 (n=608)
びん・缶・ペットボトル・古紙等を資源回収に出す	97.6	98.9	97.6	96.1	98.1	95.0	97.0
ごみの分別を徹底する	92.9	97.8	96.8	96.1	100.0	95.0	96.7
ものを大切にし、できるだけ長く使用する	95.2	95.7	94.4	96.1	98.1	95.0	95.7
使用していない場所の照明はこまめに消す	92.9	90.2	96.8	92.2	97.2	92.1	93.8
車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	92.9	92.4	88.1	89.2	96.3	89.2	91.0
再生品や詰め替え商品を購入する	90.5	96.7	96.8	91.2	90.7	78.4	90.1
身近に生息している生きものや植物を大切に育てる	78.6	80.4	84.1	81.4	90.7	85.6	84.2
マイバッグを利用する	42.9	70.7	81.7	78.4	81.3	82.0	76.8
冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は室温20℃をめやすにする	45.2	59.8	69.8	62.7	78.5	74.8	68.1
庭やベランダ等に植木や鉢植えを設ける	50.0	56.5	59.5	56.9	79.4	85.6	67.4
使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	52.4	51.1	65.9	64.7	66.4	68.3	63.2
洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	38.1	40.2	48.4	60.8	76.6	77.7	60.2
エコドライブを実践する	45.2	42.4	49.2	61.8	64.5	47.5	52.3
洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	26.2	26.1	42.1	47.1	46.7	48.2	41.6
「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合い、実践する	9.5	22.8	29.4	33.3	32.7	35.3	29.6
家庭で二酸化炭素削減・省エネプログラムに取り組む	14.3	22.8	25.4	25.5	32.7	31.7	27.0
環境に関するイベントや環境学習会、自然観察会等に参加し、環境について学ぶ	2.4	2.2	11.1	13.7	17.8	27.3	14.5
地域の環境活動に参加する	2.4	6.5	9.5	2.9	7.5	15.1	8.4
雨水を再利用する	2.4	0.0	4.0	3.9	8.4	11.5	5.8

※ 表中の数値は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合(%)を示します。網掛けは、問7集計値よりも高い回答割合を示します。

- 世代別に取組の実施率を見ると、60歳代～70歳代が問7集計値を上回る傾向があり、環境にやさしい行動に取り組んでいることがうかがえます。
- 「60歳～69歳」は18項目で、問7集計値を上回っています。特に、「冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は室温20℃をめやすにする」「庭やベランダ等に植木や鉢植えを設ける」「洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする」「エコドライブを実践する」については、集計値を10程度上回っています。
- 平成28年度と比較すると、すべての年代で「『家庭でできる環境にやさしい行動』について話し合い、実践する」「地域の環境活動に参加する」が減少しています。

## (世帯別集計)

### <「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組状況>

問7 Ⅱ	一人暮らし (n=112)	夫婦のみ (n=145)	二世世代家族 (n=287)	三世世代家族 (n=34)	その他 (n=26)	問7 単純 集計値 (n=604)
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	83.9	91.7	95.1	100.0	92.3	92.4
省エネタイプの家電製品を使用する	78.6	91.0	95.1	91.2	92.3	90.7
環境にやさしい自動車を購入する	17.9	34.5	41.1	44.1	34.6	35.1
屋上緑化や壁面緑化(みどりのカーテン等)をする	12.5	26.9	31.0	47.1	19.2	27.0
排熱を利用した空調機・給湯器・電池等の機器を取付ける	12.5	14.5	18.8	32.4	15.4	17.2
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取付ける	3.0	13.0	39.0	10.0	1.0	10.9

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示します。網掛けは、問7 集計値よりも高い回答割合を示します。

- 「一人暮らし」は、すべての項目について、集計値よりも取り組んでいる人の割合が低くなっています。
- 「二世世代家族」は、すべての項目について、取り組んでいる人の割合が集計値よりも高くなっており、環境にやさしい行動に関して意識が高いことがうかがえます。

## (住居別集計)

### <「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組状況>

問7 Ⅱ	一戸建て (n=289)	マンション・アパート (n=253)	その他 (n=15)	問7 単純 集計値 (n=557)
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	94.5	88.9	93.3	91.9
省エネタイプの家電製品を使用する	92.4	88.5	86.7	90.5
環境にやさしい自動車を購入する	38.8	27.3	33.3	33.4
屋上緑化や壁面緑化(みどりのカーテン等)をする	33.2	17.8	26.7	26.0
排熱を利用した空調機・給湯器・電池等の機器を取付ける	24.9	8.7	6.7	17.1
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取付ける	15.6	5.1	0.0	10.4

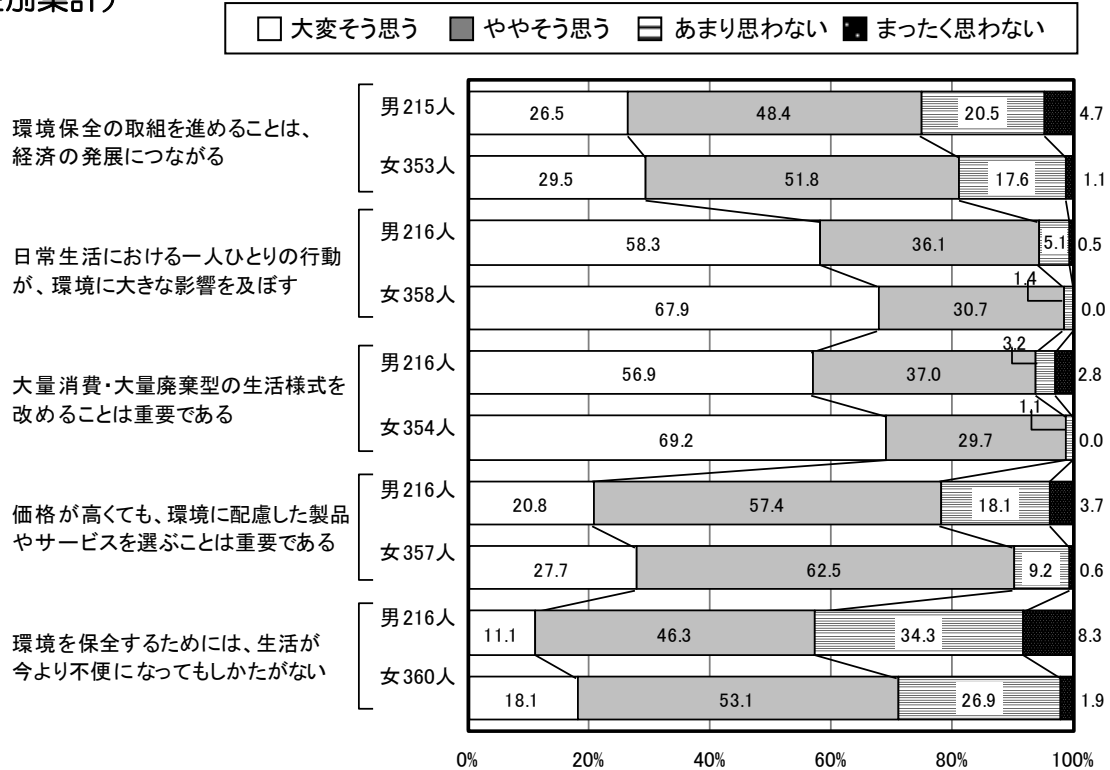
※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示します。網掛けは、問7 集計値よりも高い回答割合を示します。

- 「一戸建て」は、すべての項目について「取り組んでいる」・「検討中」と回答した人の割合が高くなっています。
- マンション・アパートでは、すべての項目について、「取り組んでいる」・「検討中」と回答した人の割合が低くなっており、ハード面の対策の取組が難しい状況がうかがえます。

## ■ 性別・年齢から見た環境と経済に関する意見

問10 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

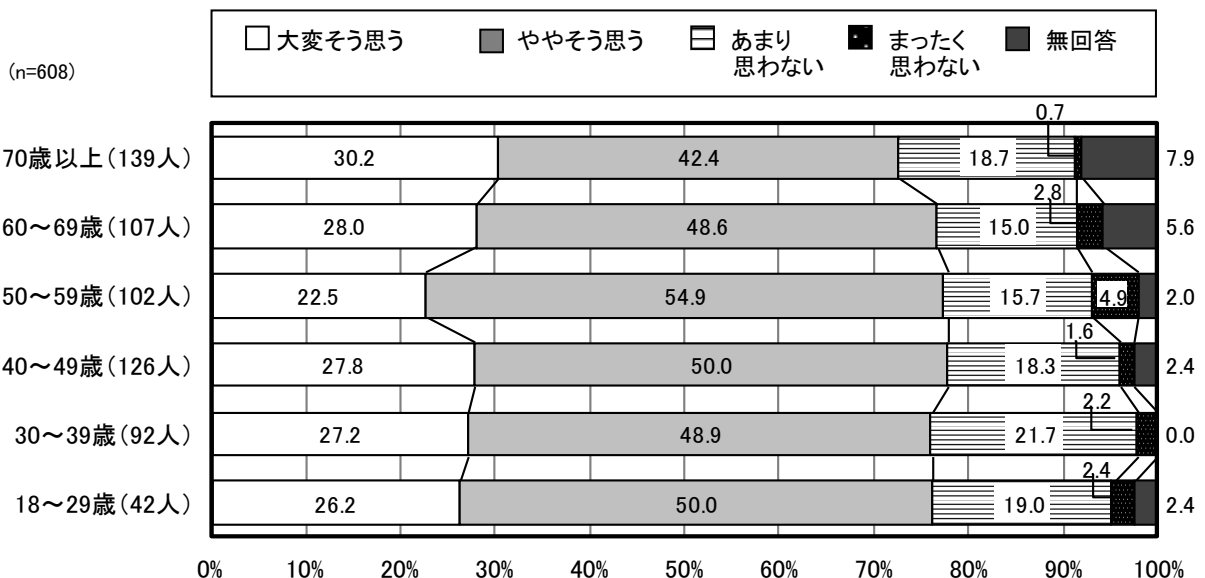
(性別集計)



- すべての項目において、女性のほうが「大変そう思う」の割合が高くなっています。
- 「環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない」という項目は、男女ともに「大変そう思う」の割合が低くなっています。

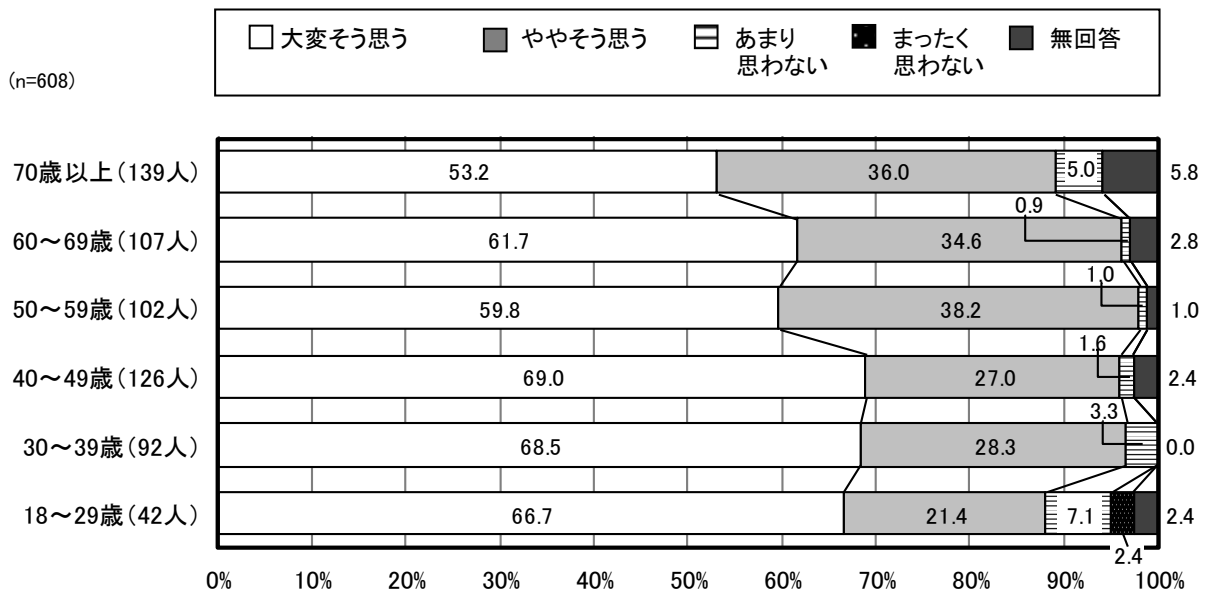
(年齢別集計)

<環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる>



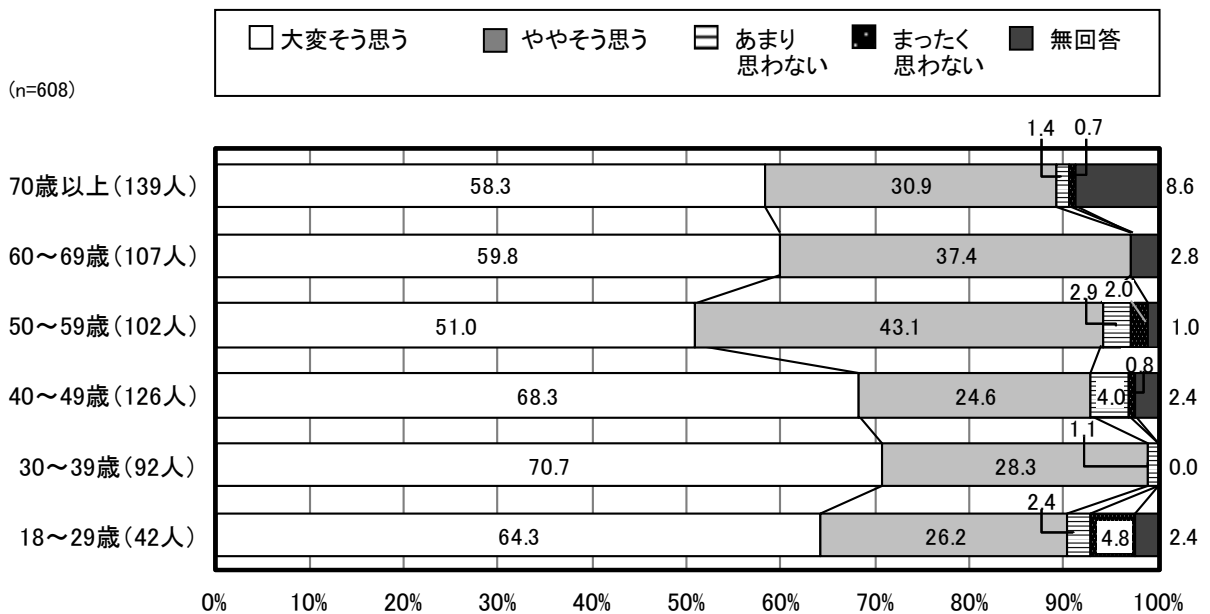
- 「大変そう思う」の割合は、「70歳以上」で最も高くなっています。
- 「大変そう思う」「ややそう思う」を合わせると、「40～49歳」が最も高くなっています。

<日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす>



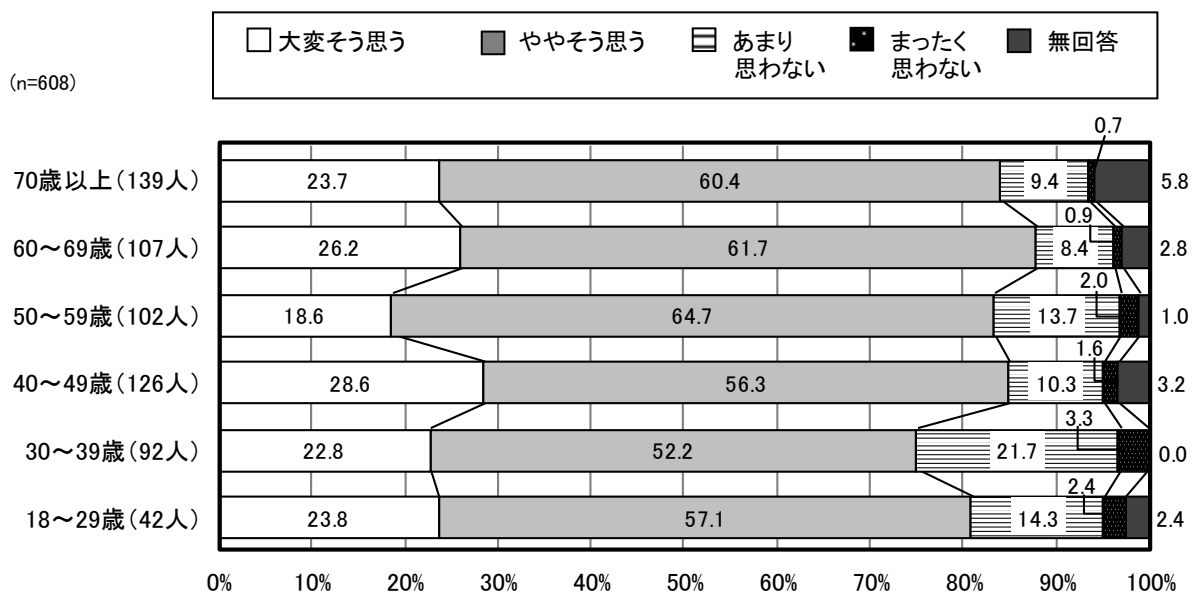
- 「大変そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は、「50~59歳」で最も高くなっています。
- すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」を合わせた割合は、8割を超えています。

<大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である>



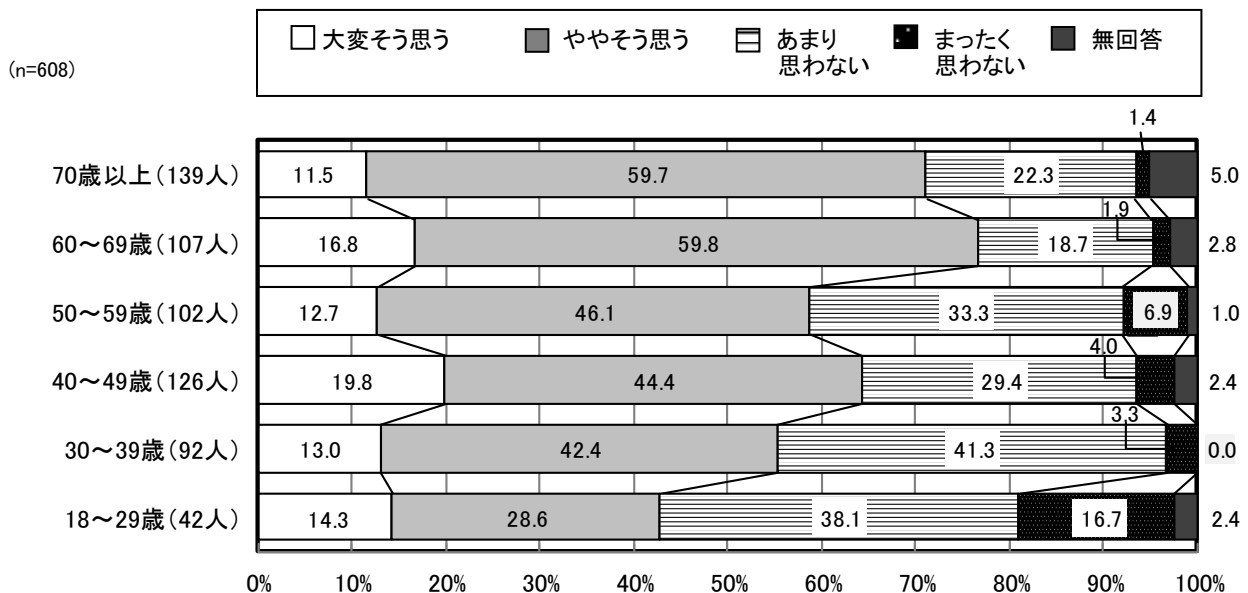
- 「大変そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は、「30~39歳」で最も高くなっています。
- すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」を合わせた割合は、8割を超えています。

<価格が高くて、環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である>



○ すべての年代で、「大変そう思う」の割合は低いが、「ややそう思う」の割合が高く、合わせると7割以上が賛同しています。

<環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない>



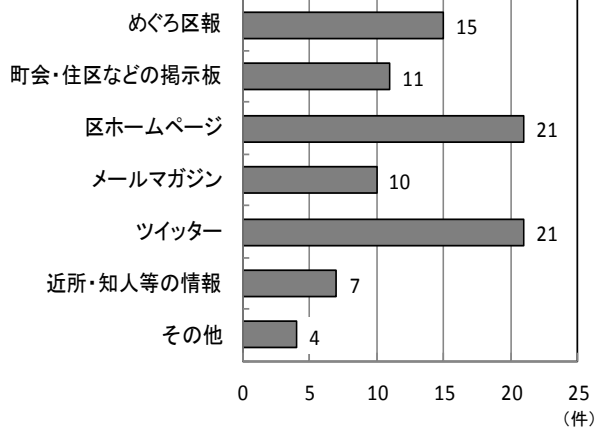
○ 「大変そう思う」の割合は、「40~49歳」で多くなっています。  
 ○ 「大変そう思う」「ややそう思う」を合わせると、18~29歳を除くすべての世代で5割以上になっています。

## ■ 年齢別から見た環境情報の接触媒体

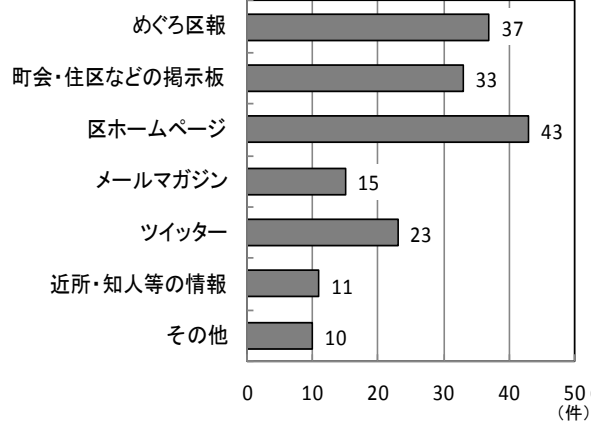
問14 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

(年齢別集計)

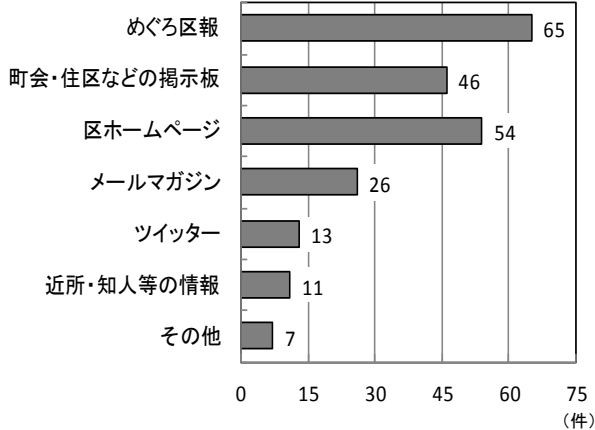
<18~29歳 (n=42)>



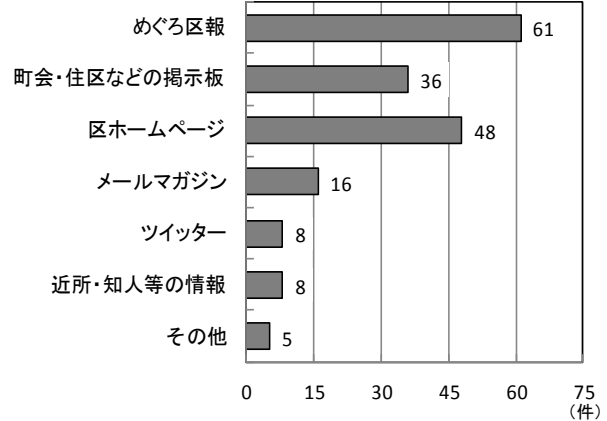
<30~39歳 (n=92)>



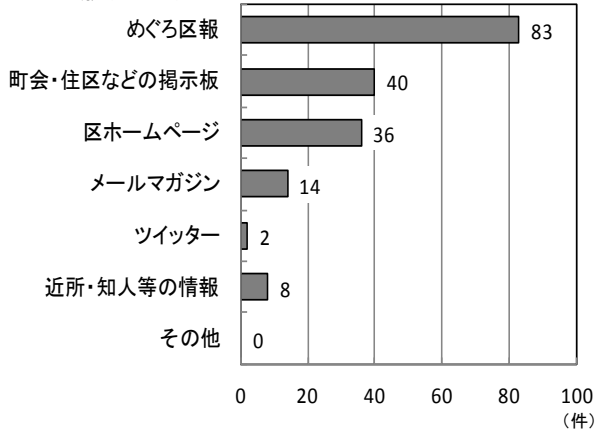
<40~49歳 (n=126)>



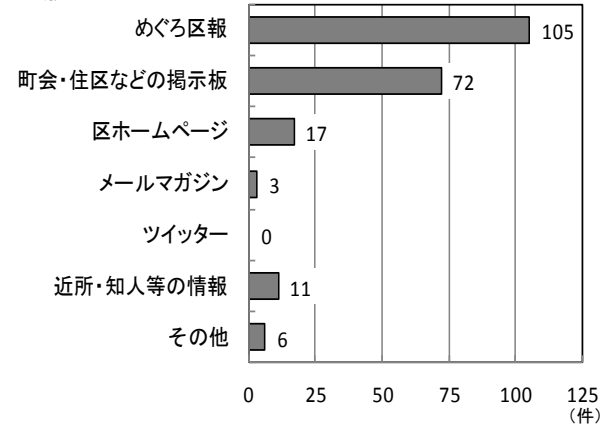
<50~59歳 (n=102)>



<60~69歳 (n=107)>



<70歳以上 (n=139)>



○ 30歳代以上で、「めぐろ区報」「町会・住区などの掲示板」「区ホームページ」の利用意向が高く、特に40歳代以上では、「めぐろ区報」の利用意向が最も高くなっています。

## ■ 自由記述

<回答者数：271人、延べ回答件数：362件>

目黒区環境基本計画の 基本方針	件数	意見の分類	件数
1-1 きれいな空気と 水辺のある まちで暮らす	87	大気環境の保全について	5
		水環境の保全について	15
		有害物質による汚染の防止について	2
		身近な生活環境の保全について	65
1-2 みどりあふれる まちで暮らす	31	街なかのみどりの保全について	18
		身近な場所にみどりを育てるについて	13
		都市の生物の多様性確保について	0
1-3 安らぎのある まちをつくる	76	住み心地のよいまちづくりについて	61
		街並み景観の向上・歴史的文化的資源の活用について	15
2-1 ものを大切にする 地域社会をめざす	44	ごみの発生抑制について	4
		円滑な資源循環について	8
		ごみの適正処理の推進について	32
2-2 地球にやさしい 地域社会をつくる	3	低炭素ライフスタイルの普及について	2
		事業活動の低炭素化について	0
		ヒートアイランド現象の緩和について	1
3-1 人を育てて 行動を促す	24	環境教育・学習の推進について	3
		環境情報の提供について	21
		人材や活動団体の育成について	0
		事業者の取組の促進について	0
3-2 人のつながりを 育てる	4	地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化について	0
		区民・事業者・区のパートナーシップの構築について	4
		地域を越えた広域的な連携について	0
その他	93	環境に関するその他の事項について	11
		環境以外の区の施策について	20
		その他	62





問6. 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。(それぞれ〇を1つ)

(1) 空気のきれいさについて

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いえない	やや 気になる	気になる
自動車排気ガス	1	2	3	4	5
ほこりやけむり	1	2	3	4	5
近隣からのにおい	1	2	3	4	5
有害な化学物質	1	2	3	4	5
放射性物質	1	2	3	4	5

(2) まちの静けさ(騒音や振動)について

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いえない	やや 気になる	気になる
近隣からの騒音や振動	1	2	3	4	5
車やバイクの騒音や振動	1	2	3	4	5
電車の騒音や振動	1	2	3	4	5
工場や駐車場の騒音や振動	1	2	3	4	5
工事現場の騒音や振動	1	2	3	4	5

(3) まちの清潔さやきれいさについて

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いえない	やや 気になる	気になる
たばこの吸殻	1	2	3	4	5
動物のふん	1	2	3	4	5
空き缶やビニール袋などのポイ捨て	1	2	3	4	5
集積所へのごみの出し方	1	2	3	4	5
街なかの落書き	1	2	3	4	5

(4) 自然やみどりの豊かさについて

項目	多い	やや多い	どちらとも いえない	やや少ない	少ない
公園、街路樹など公共のみどり	1	2	3	4	5
庭木、生垣など住宅地のみどり	1	2	3	4	5
野鳥・昆虫等の姿や鳴き声を見聞きする機会	1	2	3	4	5
見かける植物の種類	1	2	3	4	5
自然観察ができる水辺や緑地	1	2	3	4	5

(5) 景色や街並みの美しさについて

項目	多い	やや多い	どちらとも いえない	やや少ない	少ない
散策が楽しめる場所	1	2	3	4	5
歴史的、文化的な場所	1	2	3	4	5
街の落ち着きを感じる場所	1	2	3	4	5
おしゃれな街並み	1	2	3	4	5
眺めのよい場所	1	2	3	4	5

## 2. 環境にやさしい行動の取組み状況についてお聞きします。

問7. あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。  
(それぞれ〇を1つ)

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ		いつも している	時々 している	していない (今後も しない)	していない (本当は したい)
1	マイバッグを利用する	1	2	3	4
2	再生品や詰め替え商品を購入する	1	2	3	4
3	ものを大切にし、できるだけ長く使用する	1	2	3	4
4	ごみの分別を徹底する	1	2	3	4
5	びん・缶・ペットボトル・古紙等を資源回収に出す	1	2	3	4
6	洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	1	2	3	4
7	洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	1	2	3	4
8	雨水を貯めて再利用する	1	2	3	4
9	使用していない場所の照明はこまめに消す	1	2	3	4
10	使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	1	2	3	4
11	冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は室温20℃をめやすにする	1	2	3	4
12	エコドライブを実践する	1	2	3	4
13	車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	1	2	3	4
14	庭やベランダ等に植木や鉢植えを設ける	1	2	3	4
15	身近に生息している生きものや植物を大切に作る	1	2	3	4
16	環境に関するイベントや環境学習会、自然観察会等に参加し、環境について学ぶ	1	2	3	4
17	「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合い、実践する	1	2	3	4
18	家庭で二酸化炭素削減・省エネプログラムに取り組む	1	2	3	4
19	地域の環境活動(町会・サークル等が行う道路や公園等の清掃・緑化活動、ごみ減量やリサイクル活動等)に参加する	1	2	3	4
家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ		すでに 購入・設置 している	購入・設置 を検討中	購入・設置 をしない	購入・設置 できない
20	LED電球や電球型蛍光灯を使用する	1	2	3	4
21	省エネタイプの家電製品を使用する	1	2	3	4
22	環境にやさしい自動車(低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車)を購入する	1	2	3	4
23	屋上緑化や壁面緑化(みどりのカーテン等)をする	1	2	3	4
24	太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取付ける	1	2	3	4
25	排熱を利用した空調機・給湯器・電池等の機器(ガス、電気)を取付ける	1	2	3	4

問8. あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。(いくつでも〇)

1. 時間や手間がかかる	2. 情報不足・やり方がわからない
3. 費用がかかる	4. 効果がよくわからない
5. 必要性を感じない	6. その他( )

問9. (ア) あなたの世帯の電気・ガス・水道・ガソリン(車)の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。(それぞれ0を1つ)

	減っている	変わらない	増えている	わからない
電 気	1	2	3	4
ガ ス	1	2	3	4
水 道	1	2	3	4
ガソリン(車) ※車をお持ちの方のみ	1	2	3	4

(イ) 変化した理由や使用量削減のための工夫などを記入してください。

--

問10. 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。(それぞれ0を1つ)

意 見	そ う 大 変 そ う 思 う	そ う や や そ う 思 う	思 わ な い あ ま り	思 わ な い ま っ た く
1. 環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	1	2	3	4
2. 日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす	1	2	3	4
3. 大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	1	2	3	4
4. 価格が高くて、環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	1	2	3	4
5. 環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない	1	2	3	4

### 3. 目黒区で行っている環境保全活動についてお聞きします。

問11 (ア) 区では、枠内に示すような環境保全に関する取組み・支援を行っています。これらの取組に参加したことがありますか。

{ 参加したことがある方：参加した取組み(1~8)に○(いくつでも○) → 問12へ  
 { 参加したことがない方：9に○ → 問11(イ)へ

1. めぐるグリーンアクションプログラム	2. 太陽光発電システム等設置費助成の利用
3. 環境推進員(環境ナビゲーター)養成講座	4. 環境学習会・環境講演会
5. いきもの発見隊	6. グリーンクラブ活動
7. 目黒川クリーンアップ大作戦	8. その他( )
9. どれにも参加したことがない	

(イ) どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。(問11(ア)で9と回答された方) 参加できない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 興味・関心を持てる活動や団体がないから	2. 参加する時間がないから
3. 交通費や年会費などの費用がかかるから	4. 1人では参加しにくいから
5. どのくらい環境保全に役立つかわからないから	6. その他( )

問1 2. 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。(いくつでも○)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 家庭における二酸化炭素削減プログラム    | 2. 新エネルギー・省エネルギー機器の設置 |
| 3. 環境に関する学習会や講演会         | 4. 野鳥や草花などの自然観察会や調査   |
| 5. 緑地や学校などでの生きものの生息環境づくり | 6. 住まい周辺の緑化活動         |
| 7. ごみの減量やリサイクル活動         | 8. 道路や公園等の清掃・ごみ拾い     |
| 9. その他 ( )               |                       |

問1 3. 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。(いくつでも○)

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 大気・水質・騒音、放射線測定等の観測情報  | 2. 環境学習会や講演会に関する情報  |
| 3. 動植物のみられる時季や場所に関する情報   | 4. ごみの分別や不用品に関する情報  |
| 5. まちの美化や清掃活動に関する情報      | 6. 省エネルギーに関するアイデア情報 |
| 7. 環境に関する活動・取組を支援する補助金情報 |                     |
| 8. その他 ( )               |                     |

問1 4. 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。(いくつでも○)

- |            |                |              |
|------------|----------------|--------------|
| 1. 区ホームページ | 2. メールマガジン     | 3. ツイッター     |
| 4. めぐる区報   | 5. 町会・住区などの掲示板 | 6. 近所・知人等の情報 |
| 7. その他 ( ) |                |              |

問1 5. 「めぐろスマートライフ」ホームページについてお聞きします。

(ア) 区では、生活に密着した身近な情報を発信しながら、環境に負荷の少ない心地良い暮らしを提案する「めぐろスマートライフ」ホームページを平成27年4月に開設しました。このホームページを知っていますか。(○を1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(イ) 「めぐろスマートライフ」では、現在次のような情報を発信しています。エコなライフスタイルを送るために、今後どの情報の充実を望みますか。(いくつでも○)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 食に関するアイデア情報 | 2. 暮らし全般に関するアイデア情報 |
| 3. 省エネに関する情報   | 4. その他 ( )         |

問1 6. リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。(それぞれ○を1つ)

項目	よく内容を 知っている	多少の内容は 知っている	名前くらいしか 知らない	名前も知らない
1. めぐる買い物ルール	1	2	3	4
2. 小型家電回収	1	2	3	4

～ ルールや制度について ～

#### めぐろ買い物ルール

ごみをつくり出さない工夫や啓発を積極的に行うことを実現するため、平成18年3月に策定しました。

#### 小型家電回収

限りある資源を有効に活用するため、携帯電話など小型家電(9品目)の回収を平成26年4月から開始しました。

問17. 目黒区の施策に関する満足度をお聞きします。(それぞれ〇を1つ)

項目	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
1. 環境に関する情報提供	1	2	3	4	5
2. 環境教育・学習の場や機会の提供	1	2	3	4	5
3. 温暖化対策・省エネルギーに関する施策	1	2	3	4	5
4. ごみの減量・リサイクルに関する施策	1	2	3	4	5

4. 最後にあなたご自身のことについてお聞きします。(それぞれ〇を1つ)

	回答欄		
性別	1. 男性	2. 女性	
年齢(満年齢)	1. 18~29歳	2. 30~39歳	3. 40~49歳
	4. 50~59歳	5. 60~69歳	6. 70歳以上
職業	1. 会社員などの勤め人	2. 自営業	3. 自由業
	4. 家事専業	5. パート・アルバイト	6. 学生
	7. 無職	8. その他	
世帯の構成	1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世世代家族(親と子)
	4. 三世世代家族(親と子と孫)	5. その他	
居住地区	1. 北部地区(駒場住区、菅刈住区、東山住区、烏森住区)		
	2. 東部地区(中目黒住区、田道住区、下目黒住区、不動住区)		
	3. 中央地区(上目黒住区、油面住区、五本木住区、鷹番住区)		
	4. 南部地区(月光原住区、向原住区、碑住区、原町住区、大岡山東住区)		
	5. 西部地区(大岡山西住区、中根住区、自由が丘住区、八雲住区、東根住区)		
目黒区居住年数	1. 1年未満	2. 1~5年	3. 6~10年
	4. 11~20年	5. 21~30年	6. 31年以上
住宅の種類	1. 一戸建て	2. マンション・アパート	3. その他

5. 身近な環境に対して日頃感じていることや目黒区の環境行政について、ご意見やご提案がございましたらご記入ください。

<div style="border: 1px solid black; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; width: 100%;"></div> </div>
--

アンケート調査は、これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかももう一度お確かめの上、**6月20日(火)まで**に同封の

返信用封筒(切手不要)に入れ、お近くの郵便ポストへ入れてください。

## 環境行政をめぐる動き

環境をとりまく状況は、めまぐるしく変化しています。世界や国、都の動向にあわせ、区では次頁の表に示すような取組を進めてきました。特に近年では、次のような環境問題の重要性が高まっています。

### ① 持続可能な社会に向けた国際的な動き（持続可能な開発目標SDGs）

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015（平成27）年に開催の国連総会で採択された、持続可能な開発に関する2030（平成42）年の世界目標です。17の目標と、それに付随する169のターゲットから構成され、経済、社会、環境の三側面をバランスがとれ、統合された形で持続可能な開発を達成するという考え方が明確に打ち出されています。

17の目標のうち、「6 水」「12 持続可能な生産・消費」「13 気候変動」「14 海洋」「15 生態系・森林」などが特に環境と関わりが深いものとなっています。

国では、今後の国の「環境基本計画」の見直しにSDGsの理念や考え方を活用し、持続可能な社会に向けてすべての主体がより積極的に取り組んでいくための方向性を示していくことを検討しています。



<持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標>

出典：国際連合広報センターHP

### ② 地球温暖化対策に関する国内の動き

日本は、パリ協定や2015（平成27）年7月に国連に提出した「日本の約束草案」を踏まえ、2016（平成28）年5月に「地球温暖化対策計画」を閣議決定しました。

「地球温暖化対策計画」は、2030（平成42）年度の中期目標として、温室効果ガスの排出を2013（平成25）年度比26%削減するとともに、長期的目標として「2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指す」としています。また、事業者、国民などが講ずべき措置に関する基本的事項や、目標達成のために国及び地方公共団体が講ずべき施策などについても記載されています。

特に家庭部門における対策として、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）などの高度な省エネルギー性能を有する住宅の普及を推進していくこと、既存住宅の省エネルギーリフォームを推進すること、家庭用エネルギー管理システム（HEMS）などを導入してエネルギー消費量を削減していくこと、低炭素なライフスタイルへの転換を進めることなどが示されています。

WEB 平成29年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書（HTML版）

＜環境行政をめぐる区の動きおよび世界・日本・東京都の動き＞

年度	区の動き	★：世界の動き ●：国の動き ○：東京都の動き
平成 19 年度 (2007 年度)	「目黒区環境基本計画」改定 (基本目標数の見直しなど) 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」策定 めぐろ住環境プロジェクト※1	○「東京都気候変動対策方針」策定 ○「緑の東京10年プロジェクト 基本方針」策定 ○「東京都環境基本計画」策定
平成 20 年度 (2008 年度)	「敷地面積の最低限度」の都市計画変更の決定※1 ISO14001 認証返上	●「生物多様性基本法」制定 ●「エネルギーの使用の合理化に関する法律」改正 ●「地球温暖化対策推進法」改正（地方公共団体実行計画の充実など） ●「低炭素社会づくり行動計画」策定
平成 21 年度 (2009 年度)	「目黒区景観計画」策定 目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）策定	○「東京都地球温暖化対策指針」改正 ○「東京都エネルギー有効利用指針」制定
平成 22 年度 (2010 年度)	「目黒区総合治水対策基本計画」改定 「目黒区環境学習推進計画」改定	★COP-CBD※2 10開催 （「名古屋-クアラルンプール補足議定書」、「愛知ターゲット」、「名古屋議定書」採択） ○「首都圏キャップ&トレード制度」協定締結 ○「緑確保の総合的な方針」策定
平成 23 年度 (2011 年度)	「目黒区環境基本計画」改定 (重点プロジェクトの変更など) 「目黒区景観計画」改定	★COP-FCCC※3 17開催
平成 24 年度 (2012 年度)	—	★COP-FCCC 18開催 ★国連持続可能な開発会議（リオ+20）開催 ●「第四次環境基本計画」閣議決定 ●「生物多様性国家戦略2012-2020」閣議決定 ●「都市の低炭素化の促進に関する法律」制定 ○「緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」策定
平成 25 年度 (2013 年度)	「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）」改定 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」改定 「目黒区環境学習実行プラン」改定 「ささえあう生命の輪（いのちのわ）野鳥のすめるまちづくり計画」策定	★IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)が「5次評価報告書」の第1作業部会報告書、第2作業部会報告書を公表 ★「水銀に関する水俣条約」採択 ●「地球温暖化対策推進法」改正（3つ化窒素《N <sub>2</sub> O）の温室効果ガスへの追加など） ●「第三次循環型社会形成推進基本計画」閣議決定 ●「Jクレジット」制度の発足
平成 26 年度 (2014 年度)	—	★持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議開催 ★IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)が「5次評価報告書」の第3作業部会報告書を公表 ★「名古屋議定書」発効 ●「水循環基本法」制定 ●「外来種被害防止行動計画」策定 ○「東京都長期ビジョン」策定
平成 27 年度 (2015 年度)	「目黒区みどりの基本計画」改定 「目黒区一般廃棄物処理基本計画～快適で誇りのもてる循環型のまち～」改定	★COP-FCCC 21開催「パリ協定」採択 ★国連持続可能な開発サミット開催（「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択） ●「建築物省エネ法」制定 ●「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」制定 ●「気候変動の影響への適応計画」閣議決定 ○「東京都環境基本計画」改定 ○「緑確保の総合的な方針」改定
平成 28 年度 (2016 年度)	「目黒区環境基本計画」改定 (重点的に取り組むテーマの設定など)	★COP-FCCC 22開催「パリ協定」発効 ●「地球温暖化対策計画」閣議決定

※1 めぐろ住環境プロジェクト…2008（平成20）年度より実施された、住みやすい環境を整備するための一連の取組。目黒区大規模建築物等の建築に係る住環境の整備に関する条例、目黒区開発許可の基準に関する条例、目黒区斜面地建築物の制限に関する条例の制定、目黒区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例、目黒区みどりの条例、目黒区自転車等放置防止条例の改正などが行われた。

※2 COP-CBD…生物多様性条約締約国会議。

※3 COP-FCCC…気候変動枠組条約締約国会議。



## 環境保全の施策に要した主な経費

### 基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
環境調査	大気汚染常時監視、幹線道路の自動車公害調査、目黒川水質調査、光化学スモッグ対策、幹線道路沿いにおける窒素酸化物調査、地下水調査、一般大気中アスベスト調査、一般環境大気中のダイオキシン類調査委託、目黒川臭気分析委託	15,126
総合治水対策の推進	雨水浸透枿3か所	1,395
放射線対策	空間放射線量測定、NaI(Tl)シンチレーションサーベイメーター校正費	173
公園・緑道等の整備	公園(改良)1か所、児童遊園(改良)1か所	128,687
みどりのまちなみ助成	接道部緑化25件、屋上緑化7件、保存樹木等助成268件	10,836
江戸のみどり復活事業	郷土種育成、いきもの調査	3,078
グリーンクラブ事業	花苗配布等の支援95団体	5,437
ポイ捨て、落書き対策	ポイ捨て禁止キャンペーン、落書き消去活動支援	656
路上喫煙対策	路上喫煙禁止区域のパトロール、路上シート作成設置、指定喫煙所維持管理	12,884
違反屋外広告物の指導・取締	違反屋外広告物の除却数80,622枚	4,547

### 基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
ごみ減量化のための普及啓発	3R推進キャンペーン、MGR100プロジェクト、広報誌・パンフレットの発行、めぐろ買い物ルール、環境学習など	6,044
拠点回収事業	回収量(乾電池17t、紙パック5t、小型家電4t)	5,634
分別回収の推進事業	回収量(びん3,016t、缶814t、ペットボトル998t、資源プラスチック1,609t、蛍光管など10t)	1,042,954
古紙回収(行政回収分)	古紙回収量284t	47,677
資源回収活動支援	資源回収活動実施団体支援287団体 資源回収量(古紙など)12,337t	50,252
地球温暖化対策事業	普及・啓発事業(住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成、地域協議会運営、めぐろグリーンアクションプログラムなど)	11,957

### 基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
目黒区エコプラザ運営管理	環境推進員養成講座、リサイクルショップ、シルバーアトリエ、図書貸出しなど	29,435

より詳しい情報を知りたい方のために...

・環境調査報告書

基本目標1の基本方針1-1で報告した大気・水質などに関する環境調査結果を詳細に掲載した報告書です。2017（平成29）年度版は、11月頃の発行を予定しています。

WEB

トップページ>行政情報>統計・調査・報告>調査・報告>環境調査報告書

・環境保全施策実施状況一覧表

区の環境保全施策実施状況をまとめたものです。

WEB

トップページ>行政情報>統計・調査・報告>調査・報告>目黒区環境報告書（めぐろの環境）

ご意見・ご感想をお聞かせください

2017（平成29）年度版めぐろの環境（環境報告書）をお読みいただきありがとうございました。今後の環境報告書づくりの参考にしていきますので、ご意見・ご感想などをお聞かせください。

〔宛て先〕目黒区 環境清掃部 環境保全課 環境計画係

電話：03-5722-9356

FAX：03-5722-9401

Email：kankyo01@city.meguro.tokyo.jp

## 2017めぐろの環境

（平成29年度版 環境報告書）

主要印刷物番号

29-12号

発行日 2017（平成29）年9月発行

発行者 目黒区

編集部署 目黒区環境清掃部環境保全課

東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

電話 03-5722-9356（直通）

編集協力 株式会社創建